

調査検討委員会から大田市民への未来提言！

ここで一緒に暮らそう

大田市未来展望 フォーラム



海から山までダイナミックに広がる大田市の資源
その魅力と可能性を次世代につなぐために



【配布資料】

令和6年3月30日

13:30～16:00

島根県立男女共同参画センター あすてらす

1

プログラム

- 13:30～
開会 事業概要等の説明
- 13:40～14:15
第1部 調査分析結果の報告
 - ・大田市の人口推計結果等について
 - ・各種アンケート調査結果について
 - ・全国の事例紹介
- 14:15～14:25
休憩
- 14:25～15:00
第2部 調査検討委員会の報告
 - ・委員会内での主な意見とその集約結果
 - ・アクションプランの提案
- 15:00～15:55
第3部 パネルディスカッション
- 15:55～
閉会

2

第1部 調査分析結果の報告

1. 人口シミュレーション～大田市全体と他自治体比較
2. 地区別人口分析と現場ヒアリング
3. 各種アンケート調査結果(ハイライト版)
4. 全国の関連事例紹介

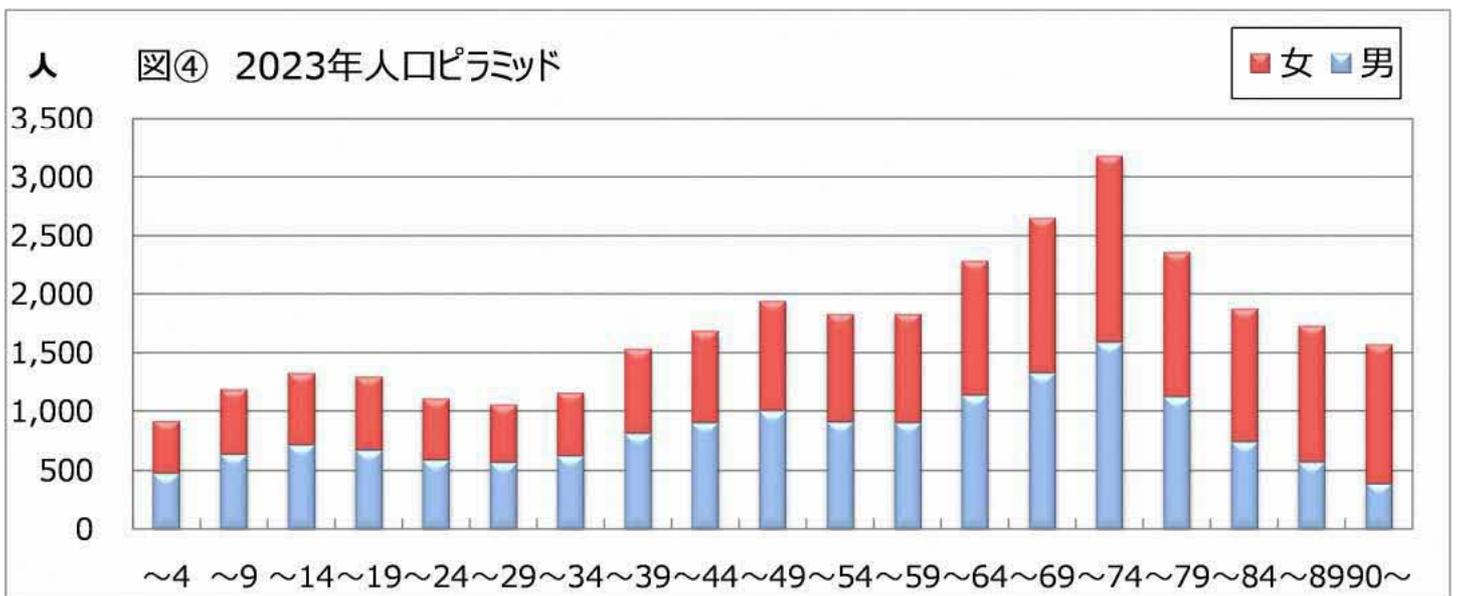
一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩

3

1. 人口シミュレーション～大田市全体と他自治体比較

①現在の年齢構成

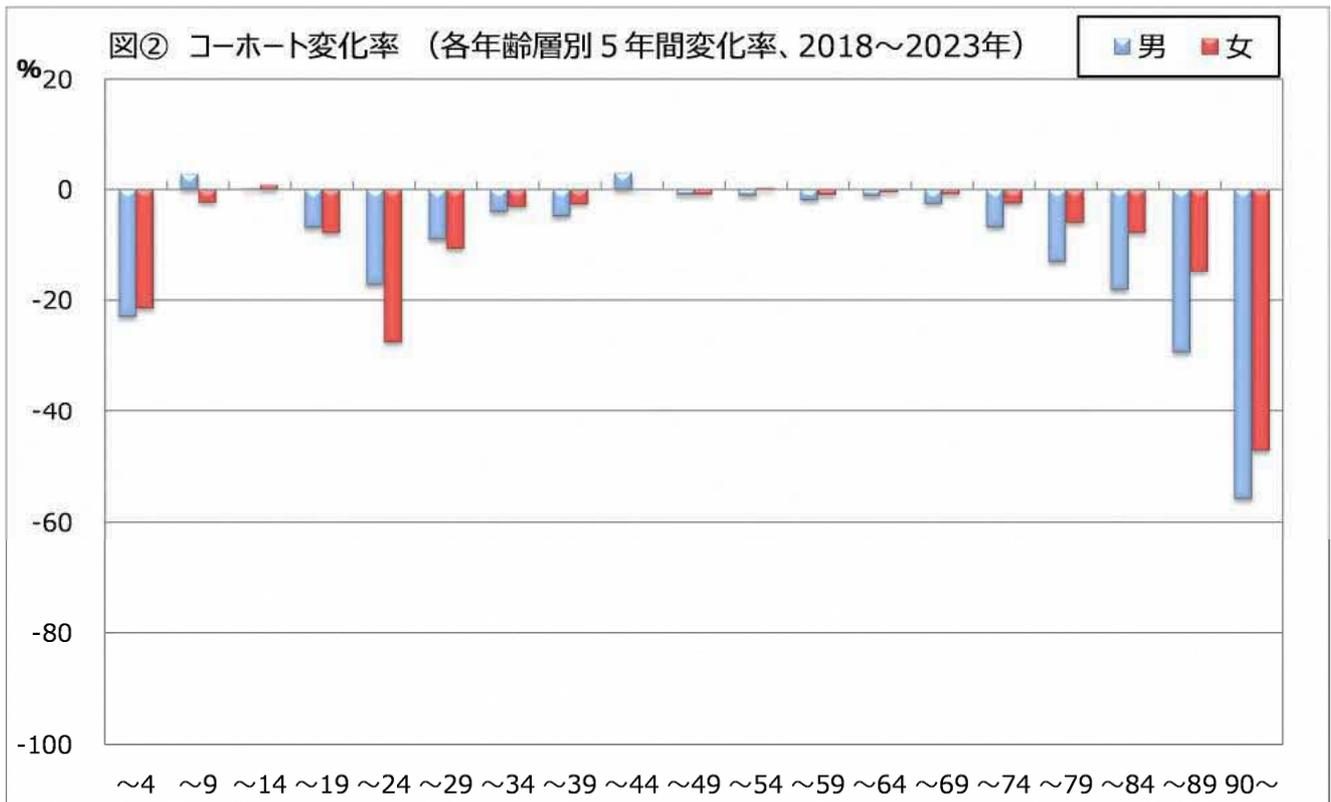
* 2018～2023年の
住民基本台帳に基づく



人口32,487人、高齢化率41.1%(75歳以上23.2%)
主力世代＝60代後半～70代前半
この5～10年で、次世代定住と地域ぐるみ福祉を。

4

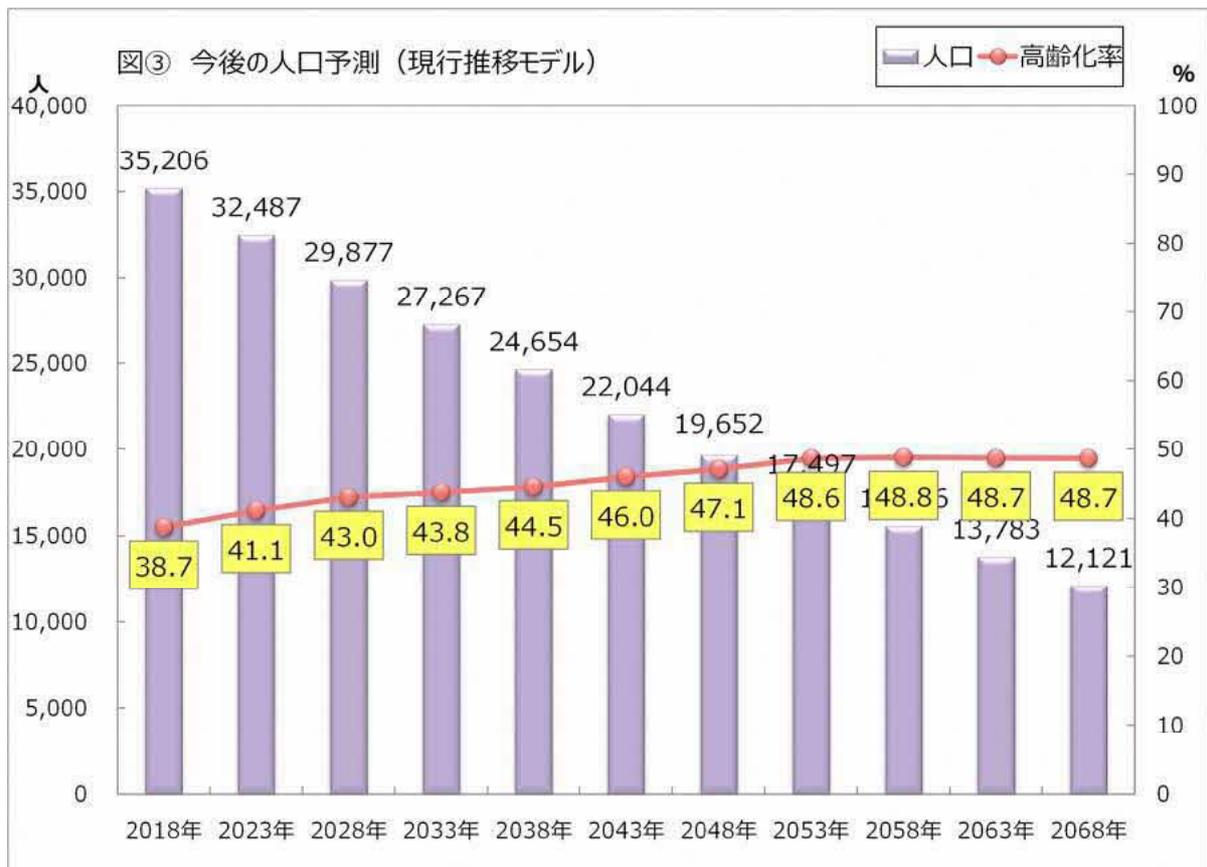
② 年齢階層別の人口増減率(2018~2023年)



10代後半~20代の流出超過(特に女性)をその後十分に
取り戻せていない。かなり急激な少子化が懸念される。

5

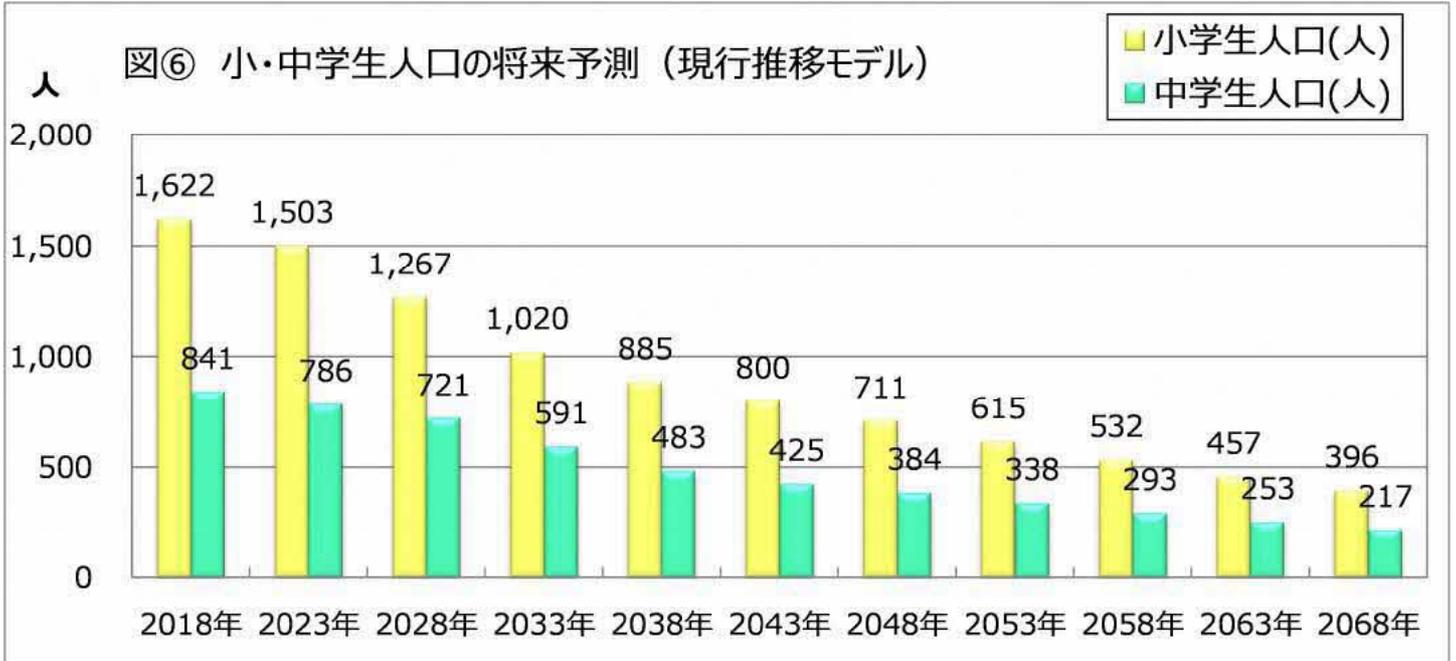
(2) 将来予測<現状推移シナリオ> 2018~2023年版



このまま何もしないと人口減少・高齢化が急速に進行

6

②小・中学生の人口予測(現状推移シナリオ) 2018～2023年版



小・中学生数は、20年で半減近くまで減少するペース。

7

(3) 組み合わせ安定化シナリオ・20代後半女性を追加

3世代の定住増加を30組に抑えた上で、20代後半女性の定住を増加させた場合を考える。

- 出生率: 2.29に段階的に向上(現在1.62)
- 流出率: 10代後半～20代前半の流出率は
男17%⇒9%、女28%⇒14%とする。
- 定住増加目標:
現在人口の0.7%(143人に1人)

20代前半男女1組(2名)	😊😊	30組	合計 100組 220人
20代後半女性	😞	10人	
30代子連れ夫婦1組(3名)	😊😊😊	30組	
60代定年帰郷夫婦1組(2名)	😊😊	30組	

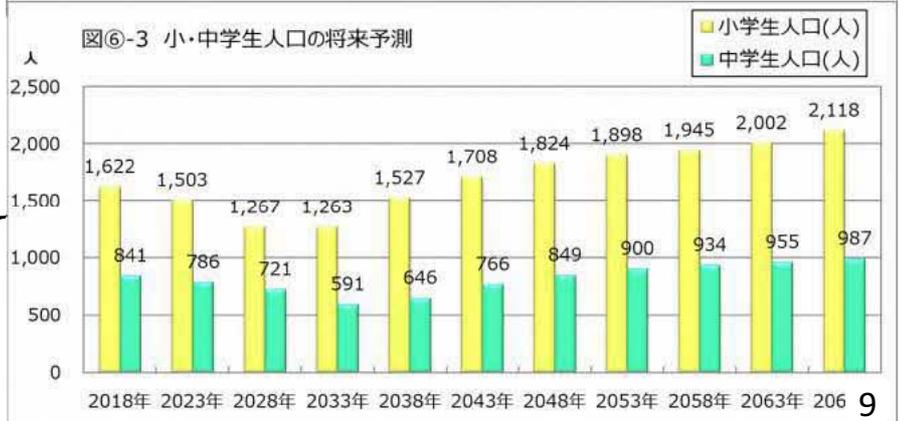
8

①今後の人口 ・高齢化率予測



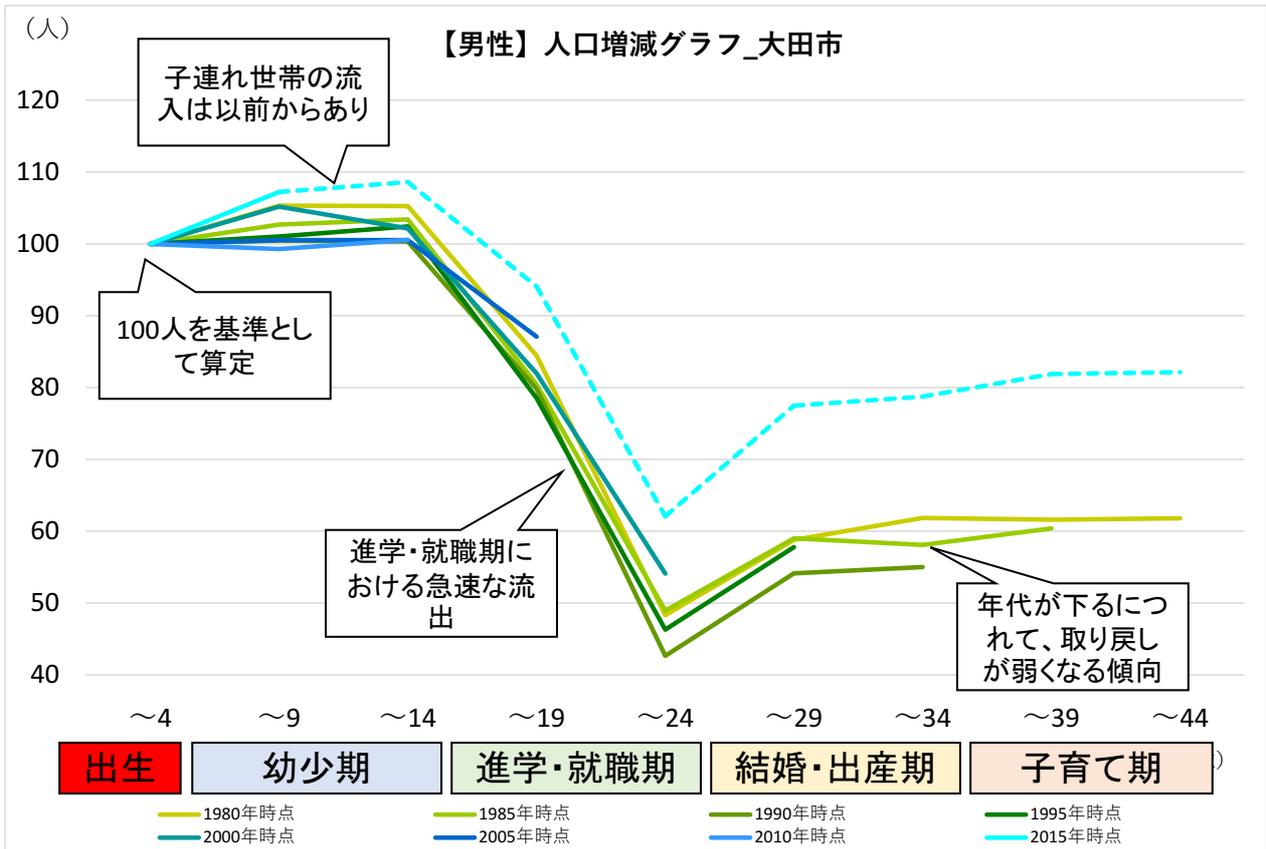
28,000人
台でほぼ
安定

②小・中学生 の人口予測

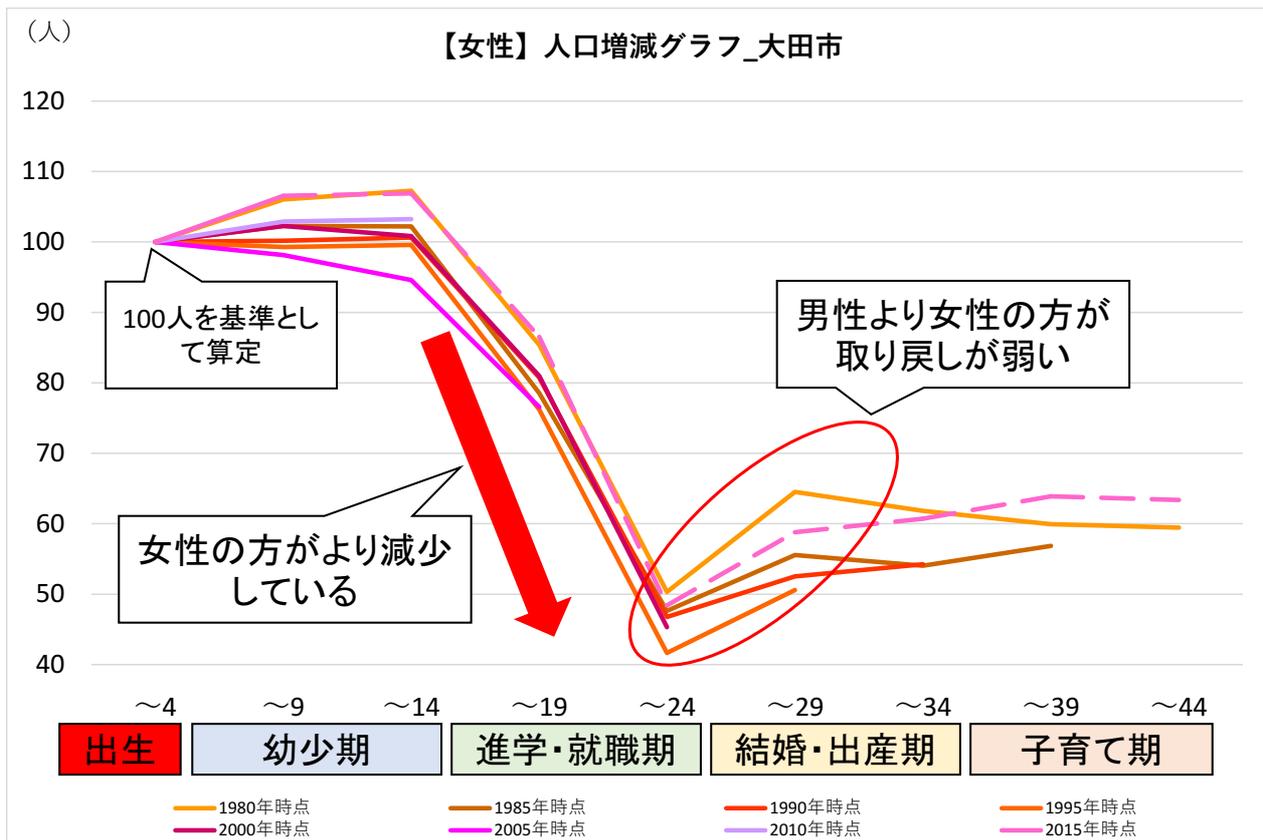


回復、増
加へ

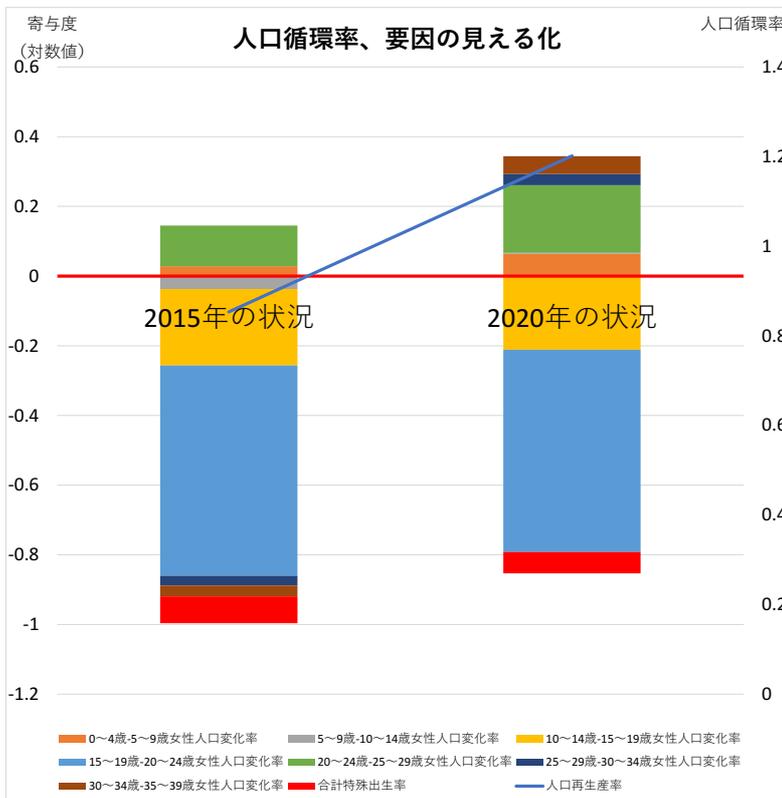
■大田市におけるこれまでの人口増減数【男性】(国勢調査より)



■大田市におけるこれまでの人口増減数【女性】(国勢調査より)



■算出結果(大田市)



大田市における人口再生産率については、2015年は**0.85**、2020年は**1.20**となっており改善はしているが、人口が置換可能な水準である「2」には到達していない。

最もマイナスに寄与しているのは、**15~19歳-20~24歳女性人口変化率**である。

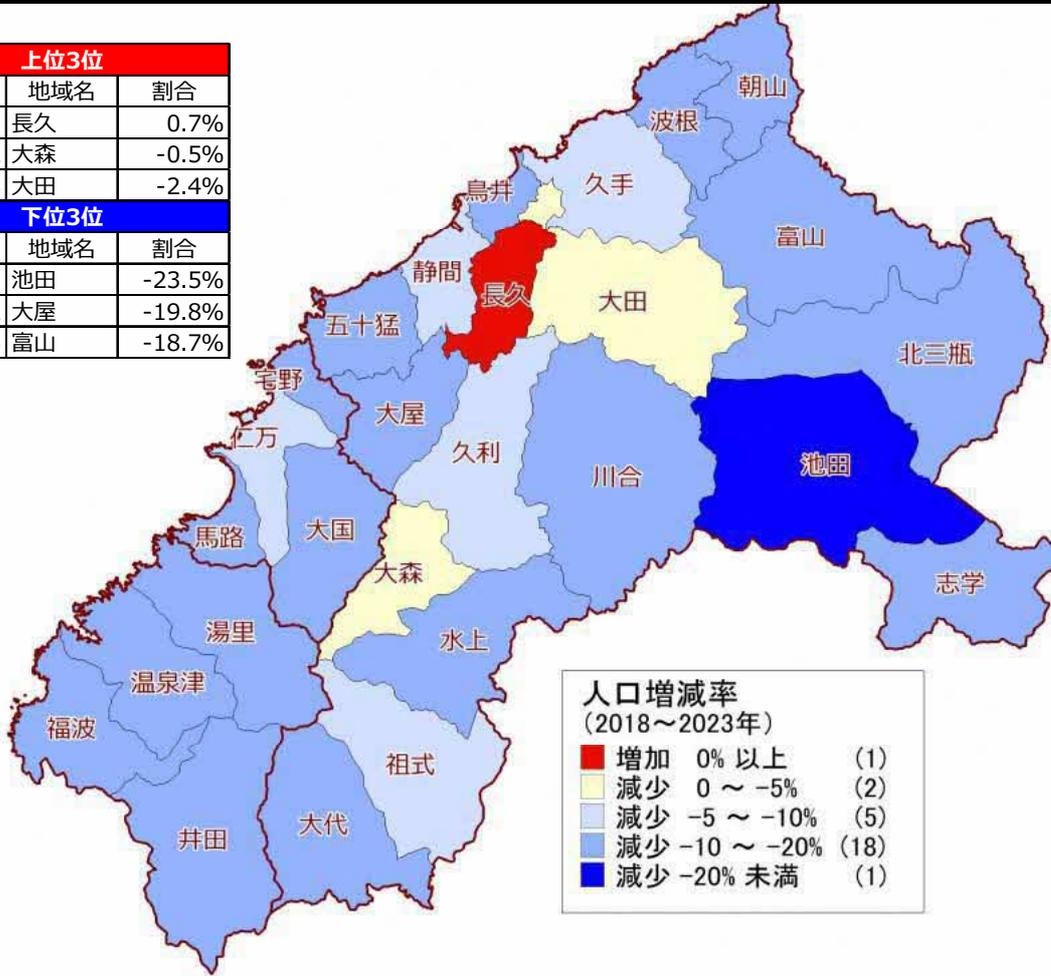
つまり、出産期以前における流出超過の累積が少子化・人口減少の一番の要因となっている。

※対数変換による数値のプラスマイナスを表現するため、ここでの合計特殊出生率は、子ども女性比に2を掛けた数字としている。

■データの諸元		0~4歳-5~9歳女性人口変化率	5~9歳-10~14歳女性人口変化率	10~14歳-15~19歳女性人口変化率	15~19歳-20~24歳女性人口変化率	20~24歳-25~29歳女性人口変化率	25~29歳-30~34歳女性人口変化率	30~34歳-35~39歳女性人口変化率	合計特殊出生率
2015	人口再生産率 0.853507453	0.028529146	-0.03712052	-0.21916398	-0.60381849	0.116146141	-0.02787492	-0.0313462	-0.07689936
2020	人口再生産率 1.201736431	0.063397245	0.003125112	-0.2113138	-0.58053304	0.194159544	0.032205781	0.051158785	-0.0615 12

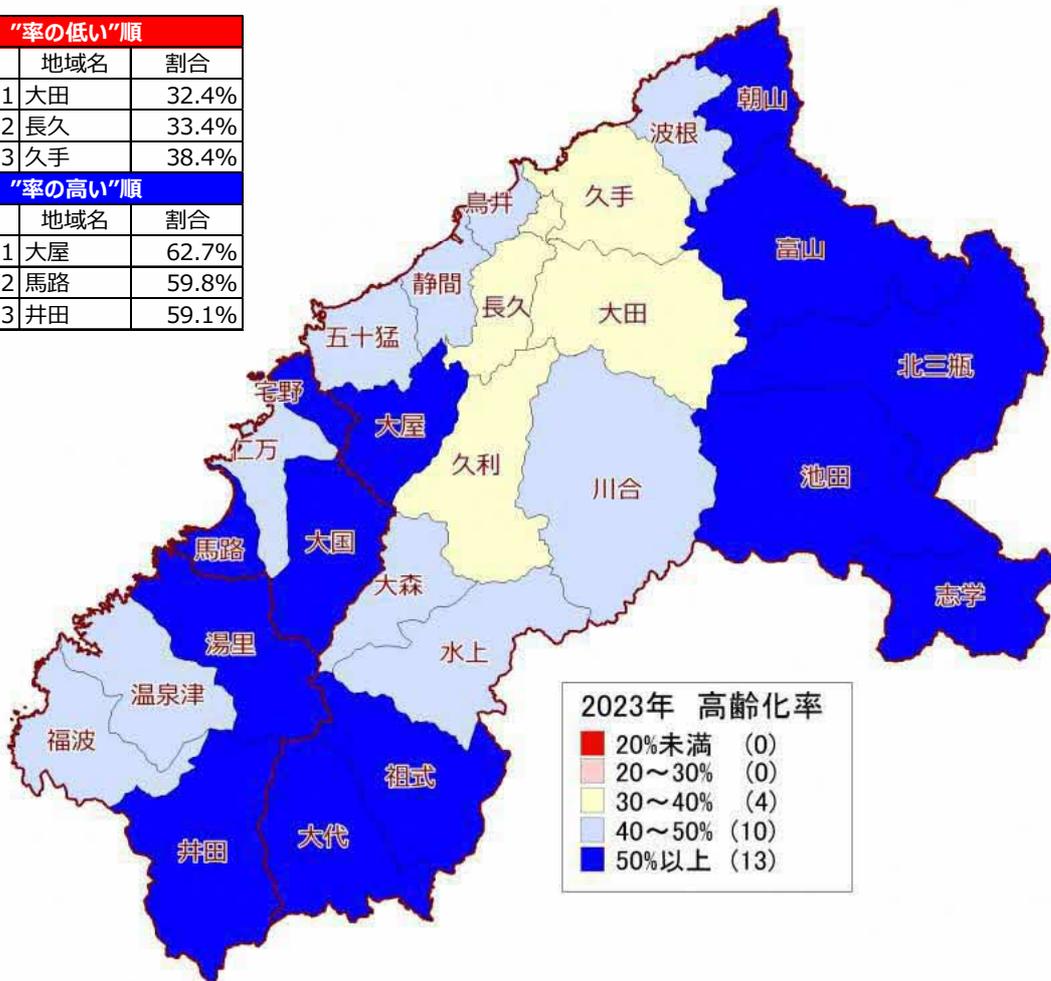
2. 地区別人口分析と現場ヒアリング

上位3位		
順位	地域名	割合
1	長久	0.7%
2	大森	-0.5%
3	大田	-2.4%
下位3位		
順位	地域名	割合
1	池田	-23.5%
2	大屋	-19.8%
3	富山	-18.7%



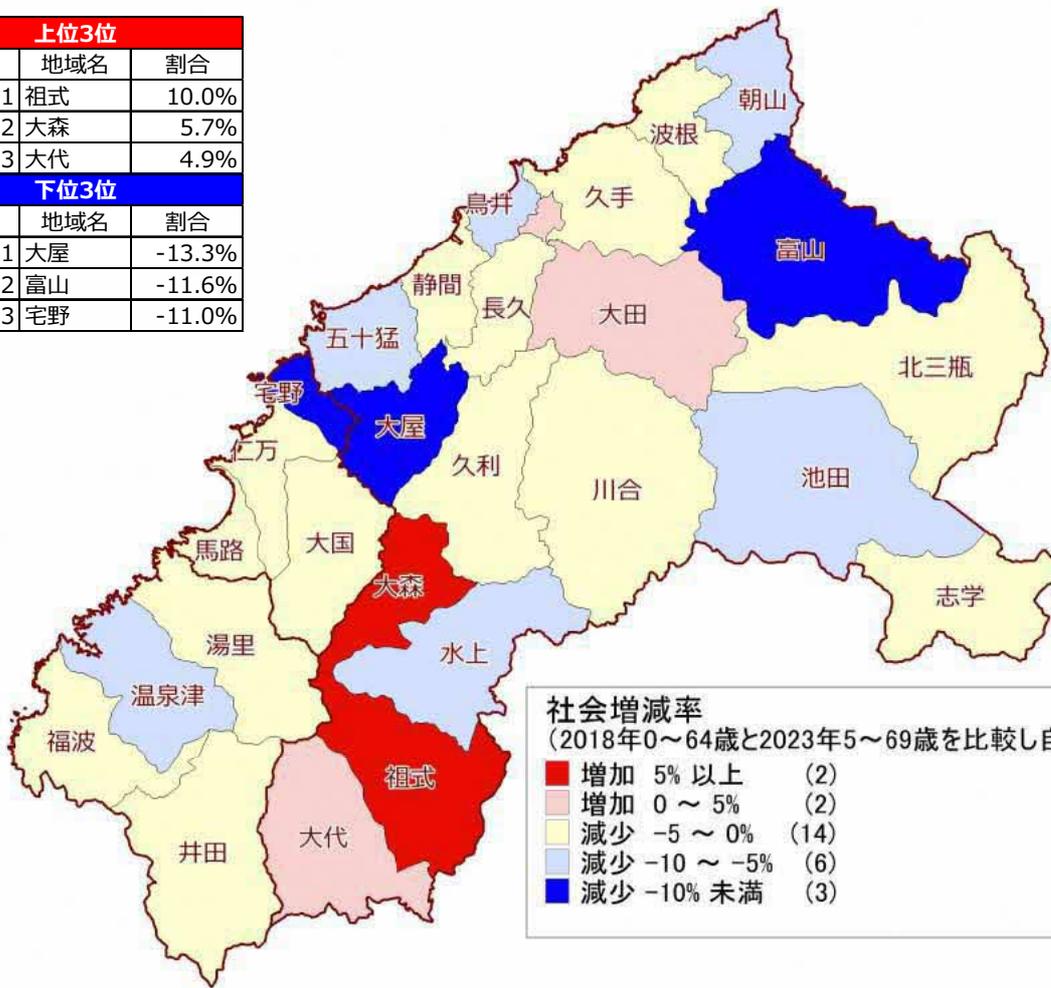
13

"率の低い"順		
順位	地域名	割合
1	大田	32.4%
2	長久	33.4%
3	久手	38.4%
"率の高い"順		
順位	地域名	割合
1	大屋	62.7%
2	馬路	59.8%
3	井田	59.1%

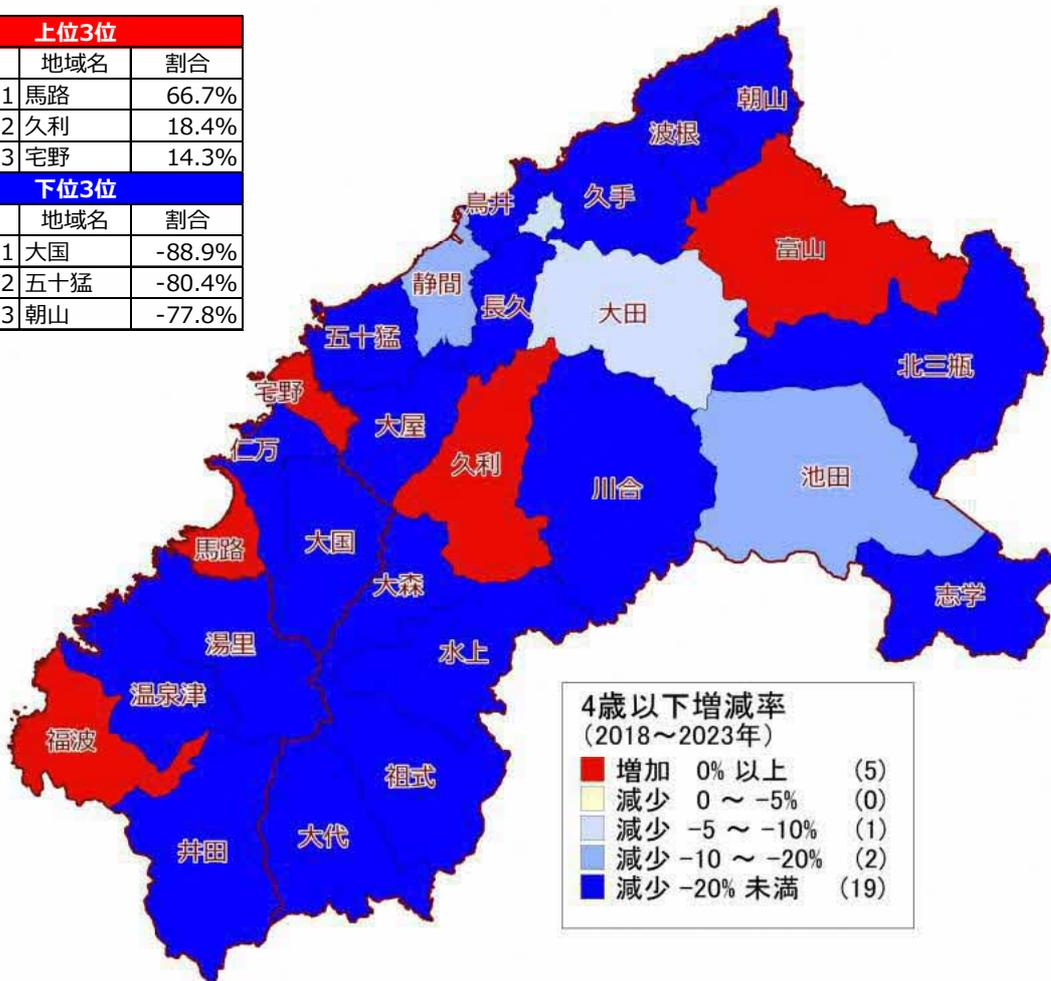


14

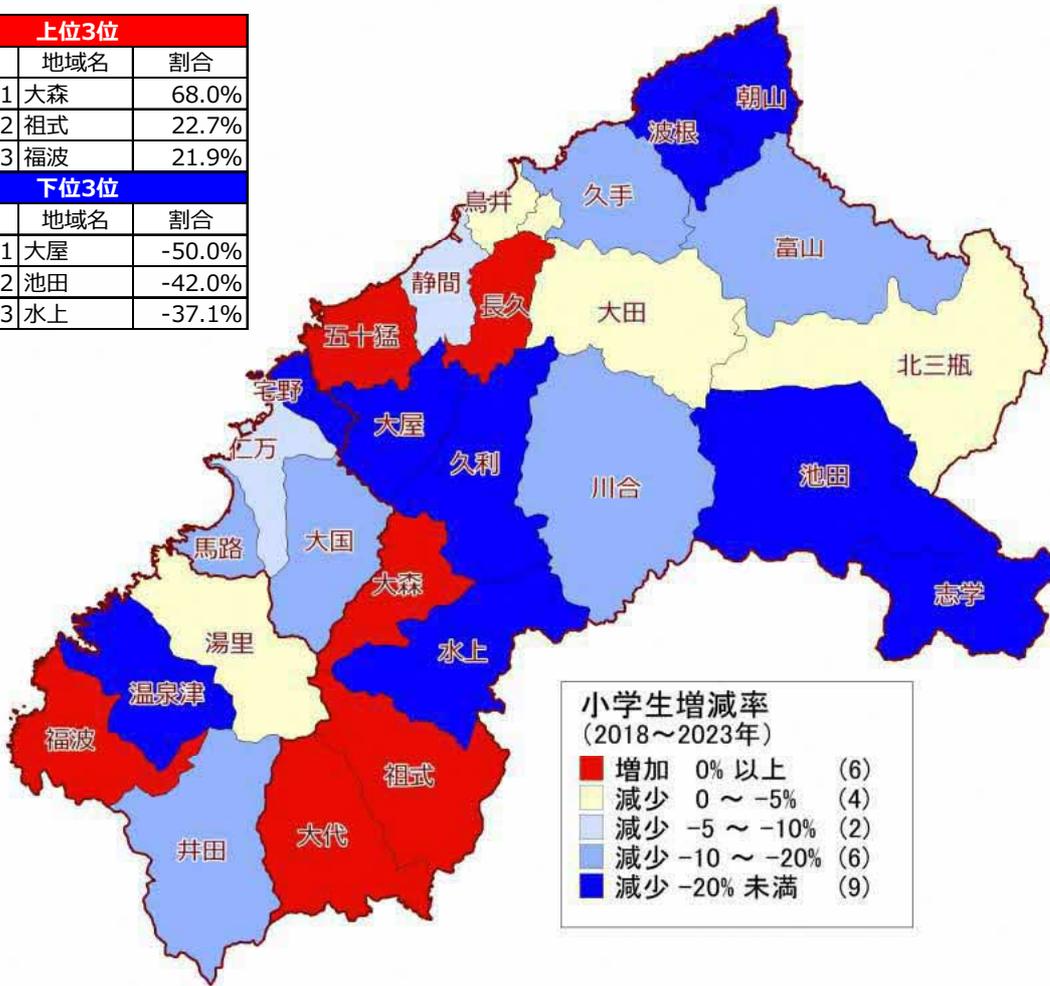
上位3位		
順位	地域名	割合
1	祖式	10.0%
2	大森	5.7%
3	大代	4.9%
下位3位		
順位	地域名	割合
1	大屋	-13.3%
2	富山	-11.6%
3	宅野	-11.0%



上位3位		
順位	地域名	割合
1	馬路	66.7%
2	久利	18.4%
3	宅野	14.3%
下位3位		
順位	地域名	割合
1	大国	-88.9%
2	五十猛	-80.4%
3	朝山	-77.8%

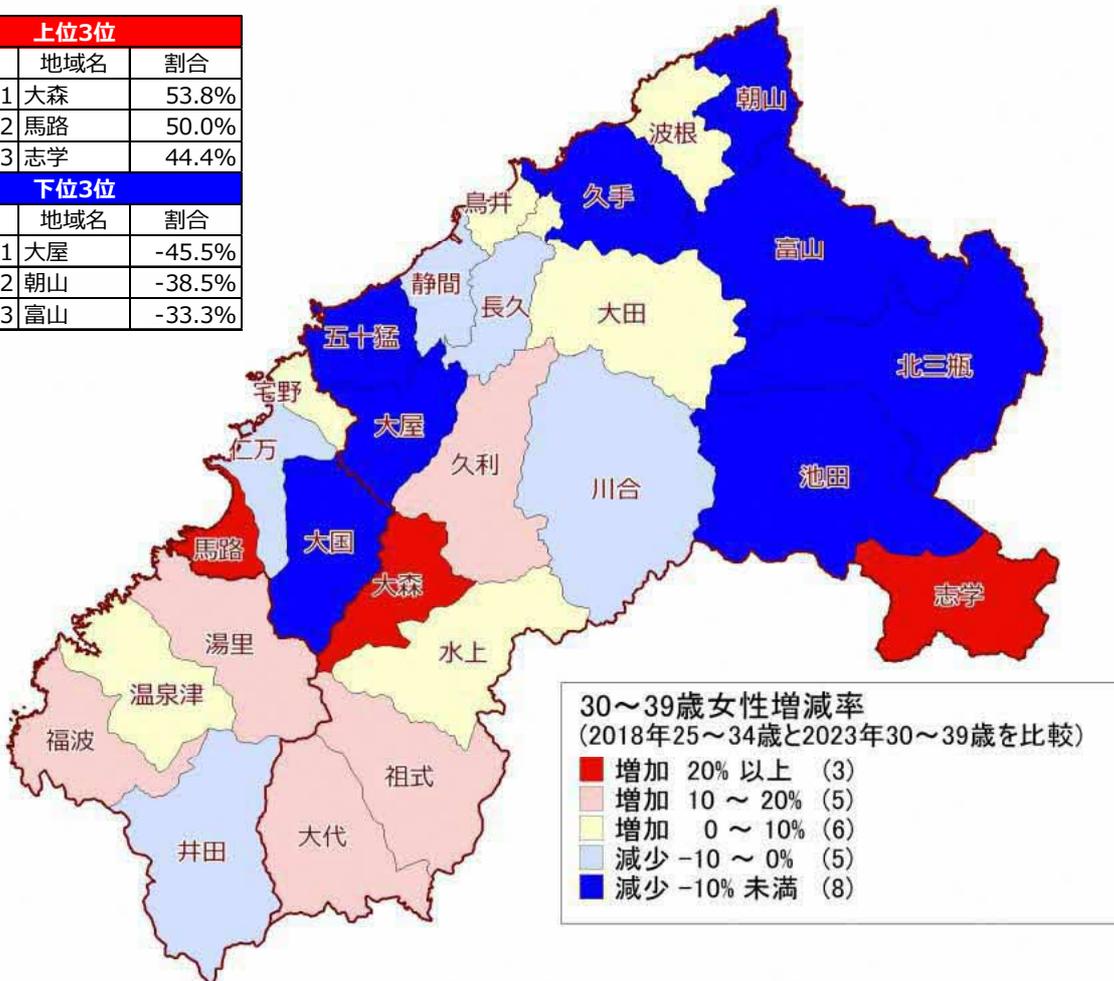


上位3位		
順位	地域名	割合
1	大森	68.0%
2	祖式	22.7%
3	福波	21.9%
下位3位		
順位	地域名	割合
1	大屋	-50.0%
2	池田	-42.0%
3	水上	-37.1%



17

上位3位		
順位	地域名	割合
1	大森	53.8%
2	馬路	50.0%
3	志学	44.4%
下位3位		
順位	地域名	割合
1	大屋	-45.5%
2	朝山	-38.5%
3	富山	-33.3%



18

3. 各種アンケート調査結果(ハイライト版)

ポイント1

1. 市民アンケート調査結果について

【実施概要】

- 実施月
 - ・ 2023年7月～8月
- 調査対象
 - ・ 18歳以上45歳以下の市民6,964人
 - ・ ただしパートナーがいる世帯はどちらか片方のみ回答
- 回収数
 - ・ **回収数：959票** (参考) パートナーのいる方が3,600人だった場合の回収率：18.6%
⇒回答者の判断により、事実婚であってもパートナーありとみなして回答可能なものとしていたため、正確な回収率は算定不可

世帯人員換算での回収数

調査票A=377×4人=1,508
 調査票B=84×2人=168
 調査票C=48×3人=144
 調査票D=450×1人=450
 計 2,270人
調査対象カバー率：3割

※本アンケート調査によって、調査対象をカバーした率

10代後半から40代半ばを対象
調査カバー率の推定は3割

ポイント2

結婚の意向

■ パートナーがいない方の結婚の意向 (n=498)

ひとり親の約2割は結婚の意向があるものの、約3割は結婚の意向が無く、理想的な相手の有無に依存した場合も含めると約6割が結婚を考えていない。
 一方で、独身者(パートナーと子どもを持たない方)については、約3割は結婚に対して消極的である。

👤 [独身(子あり)世帯 n=48]

約3割は結婚に対して消極的

結婚に対して中立的意向を持つ方も多い

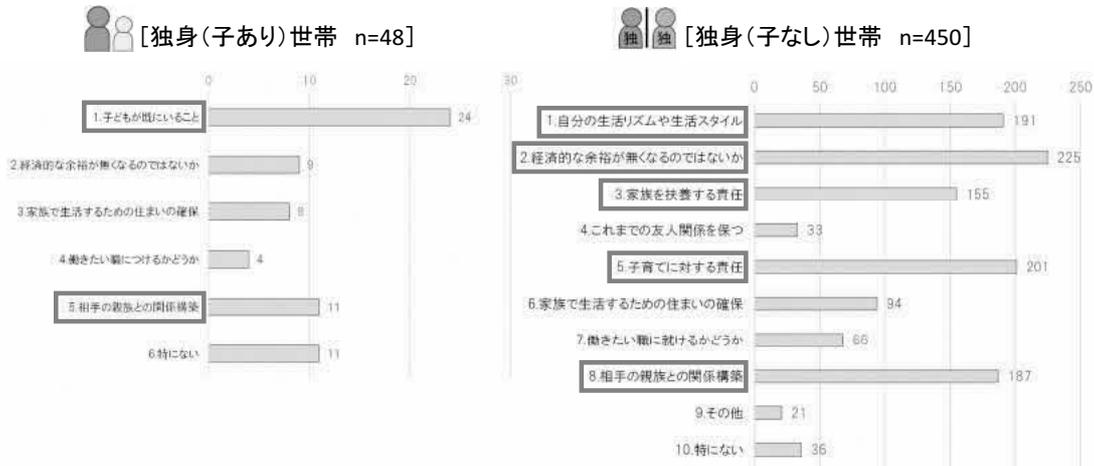
👤👤 [独身(子なし)世帯D:パなし、子なし n=450]

約6割で「積極的な」結婚の意思がある

独身子なしの方では6割が「積極的な」結婚意志

■結婚に対する不安（n=498）

結婚に対する不安として、独身(子あり)世帯は「子どもが既にいる」が最も多い。一方で、独身者については、経済的余裕に関することや子育てに対する責任がそれぞれ多くなっている。「相手親族との関係構築」は両者に共通する不安として挙げられている。

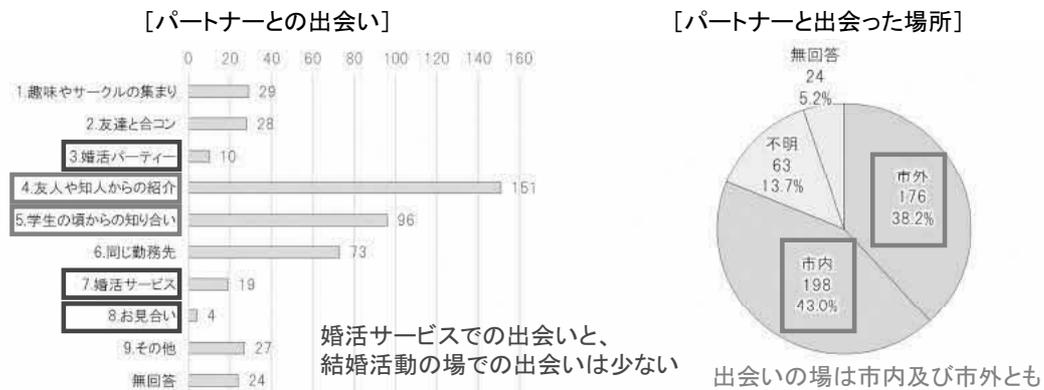


結婚への不安は、経済的余裕、子育て責任、自分の生活、相手親族

■パートナーとの出会い

■現在のパートナーといつ・どこで出会ったのか（ふたり親世帯、n=461）

パートナーとの出会いについて、「友人や知人からの紹介」「学生の頃からの知り合い」が多い一方で、婚活サービスの活用や婚活パーティー、お見合いなどの結婚活動の場での出会いは少ない。



婚活サービスでの出会いと、結婚活動の場での出会いは少ない

出会いの場は市内及び市外ともに約半数ずつ存在

【市外での出会い】

- ①夫が基本的に大田市、妻はUターンのパターンが多い。
- ②夫婦ともにUターンできたのパターンが2番目に多い。

【市内での出会い】

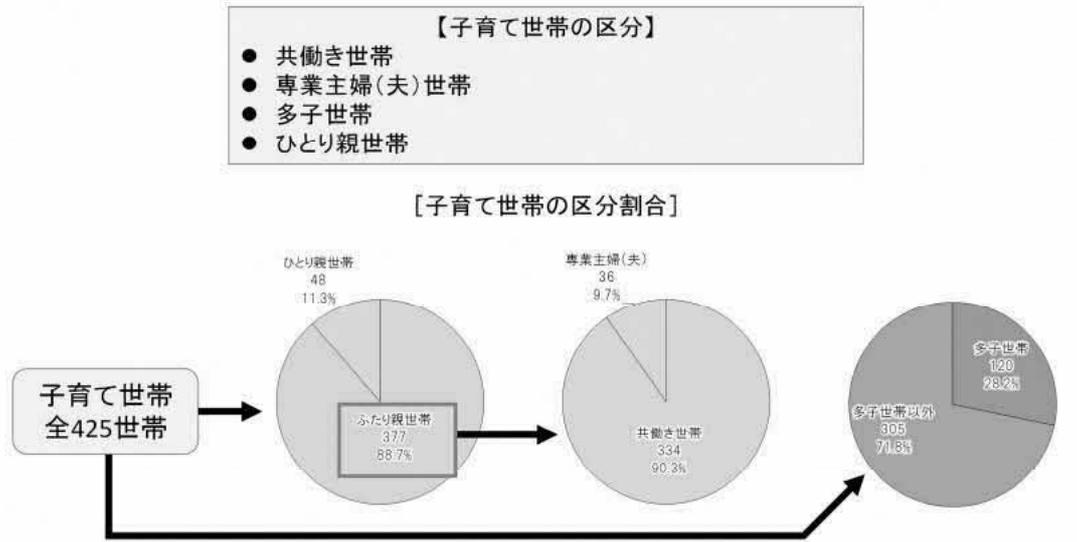
- ①夫婦ともに大田市内のパターンが多い。
- ②夫がUターンしてきた、妻が基本的に大田市のパターンが2番目に多い。

パートナーとの出会いは、友人の紹介がトップ、場所は市外が半数

子育て世帯の属性と子どもの状況

■子育て世帯の分類 (子あり世帯 n=425)

子育て世帯に関して、より詳細な傾向を把握するため、アンケート結果から得られたデータを用いて、以下の通りに分類した。

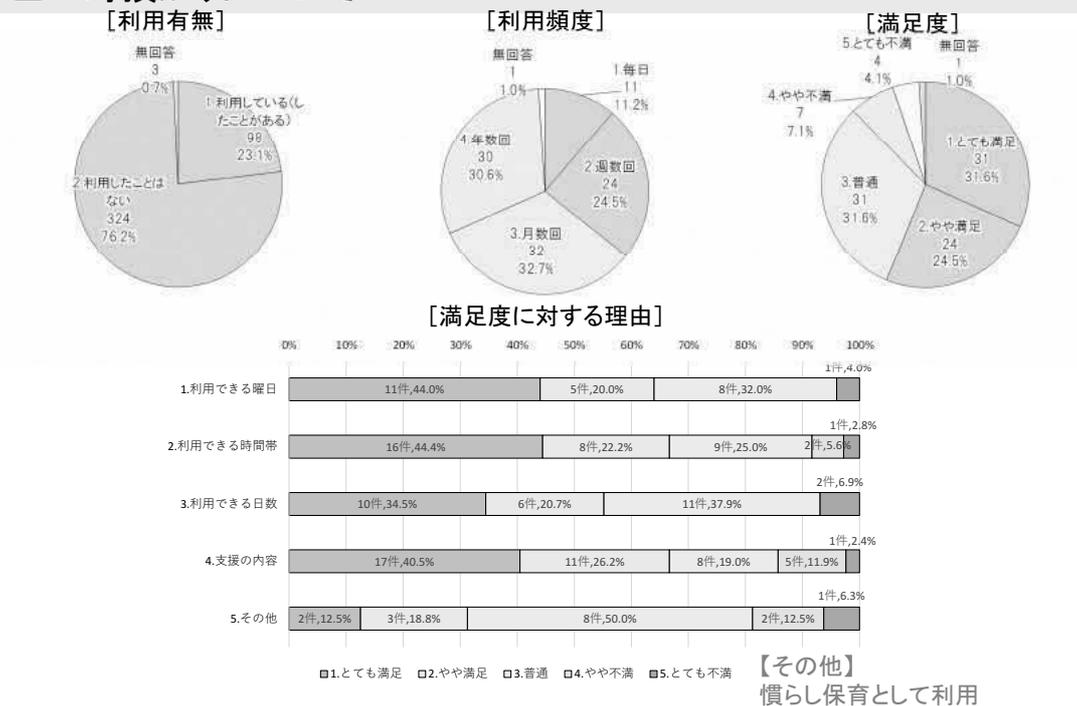


※専業主婦(夫)世帯の定義は、本アンケートの勤務形態を問う設問において、夫婦どちらか片方が「未就労」となっている世帯を抽出している。
 ※多子世帯とは、子供が3人以上いる世帯のこと。

子育て世帯の平均像は、ふたり親、共働き、子ども人数1〜2名

公的な子育て援助について

■一時預かりについて



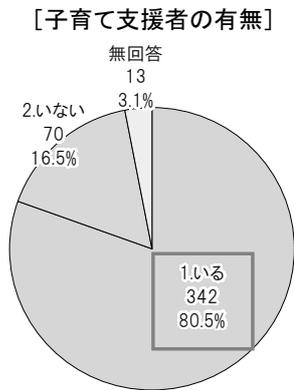
公的な子育て援助についての満足度は、ほぼ共通して高い

そのほか、「延長保育」「病児保育・病後児保育」「子育て支援センター」「放課後児童クラブ」「ファミリーサポートセンター」についても共通した傾向となっている。

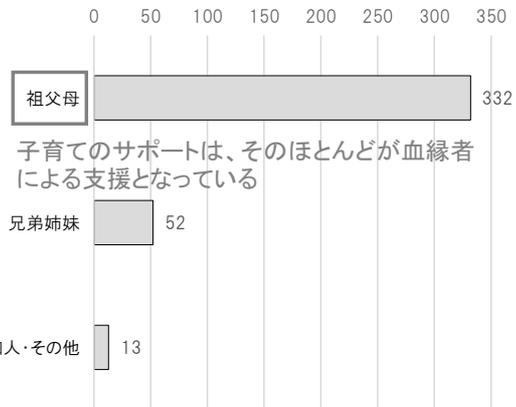
家族・友人による子育て援助について

■月1回以上子育て支援する方の有無（子あり世帯 n=425）

月1回以上子育て支援する方の有無について、いると回答した方は約8割となっている。



[子育て支援者属性の内訳 複数回答可]



子育てのサポートは、そのほとんどが血縁者による支援となっている

[子育て世帯属性別の状況]

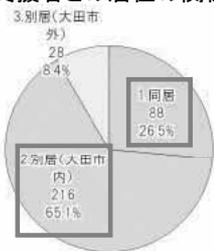
	1.いる	2.いない	無回答
共働き世帯	82.3%	15.0%	2.7%
専業主婦(夫)	83.3%	16.7%	0.0%
多子世帯	86.7%	11.7%	1.7%
ひとり親世帯	70.8%	25.0%	4.2%

ひとり親世帯に関して、支援者がいると答えた割合が低い

子育て援助の主力は、祖父母。ただし、いない世帯も2割弱

■祖父母について

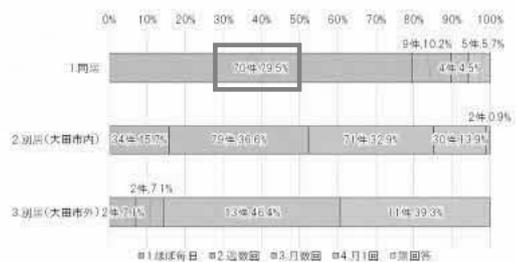
[支援者との居住の関係]



[支援頻度]



[クロス集計:居住関係別支援頻度]



[支援内容]



★ 祖父母は子育てにおいて、頻度の多さ、内容の充実が見られることから、大変重要な役割を担っていることが分かる。

居住関係が近いほど、より充実した支援が行われている。

[クロス集計:居住関係別支援内容]

	1.家事	2.保育園、学校、部活、習い事等への送迎	3.発熱時や傷病時の対応	4.一時的な預かり	5.その他
1.同居	83.0%	60.2%	63.6%	31.8%	5.7%
2.別居(大田市内)	27.8%	45.4%	41.7%	65.3%	4.2%
3.別居(大田市外)	17.9%	17.9%	50.0%	60.7%	10.7%

祖父母の援助は、同居や距離が近いほど、頻度や密度が高い

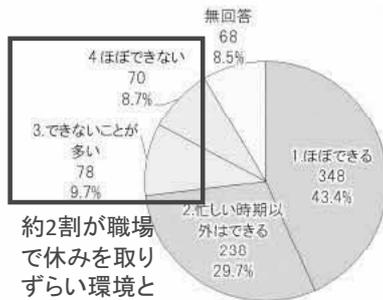
子育てに関する職場の状況

■ 職場での各種支援策 (子あり世帯 n=425)

職場で休みが取れるかどうかについて、ほぼできるという回答は約4割、忙しい時期を除いて出来るという回答も含めると約7割となっている。

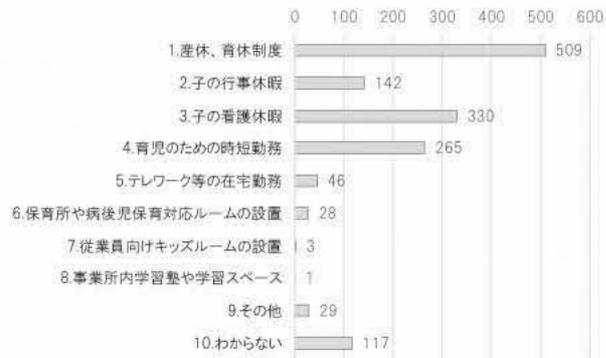
職場での子育て支援制度として最も多かったのは、「産休、育休制度」であり、次いで「子の看護休暇」、「育児のための時短勤務」となっている。

[職場で休みが取れるか]



約2割が職場で休みを取りづらい環境となっている

[職場の子育て支援制度の有無]



制度的、ハード的支援の充実が見られている一方で、職場によっては不十分なところもあるとみられ、対応すべき余地があるとみられる。

2割の男女回答者が休みにくいと回答

■ 子育て世帯の属性別クロス集計 (子あり世帯 n=425)

[共働き世帯のうちの夫婦別 n=648]



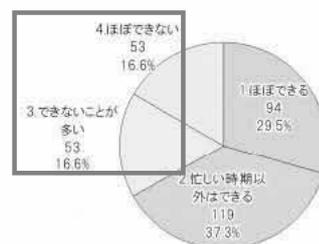
	1. ほぼできる	2. 忙しい時期以外はできる	3. できないことが多い	4. ほぼできない
妻	210	87	16	6
夫	94	119	53	53
回答しない	5	2	1	2
不明	0	0	0	0
合計	309	208	70	61

約3割の夫が出来ないと回答しており、男女で差がみられる。

[妻の状況]



[夫の状況]



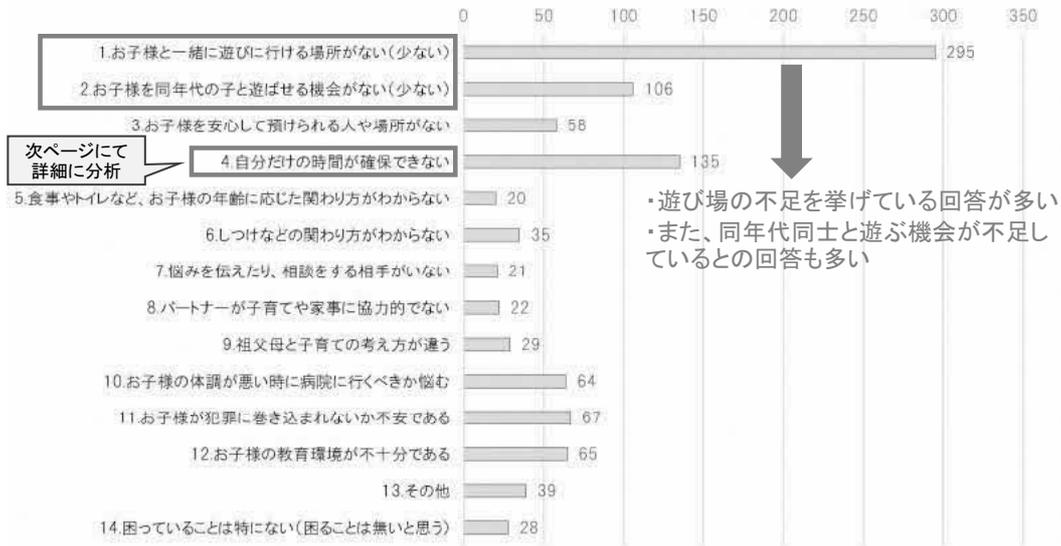
休みの取りにくさには男女差あり。男性では3分の1が困難と回答

子育てに全般に関して

■子育てをしていて困っていること (子あり世帯 n=425)

子育てをしていて困っていることとして最も多かったのは、「お子様と一緒に遊びに行ける場所がない(少ない)」であり、次いで「自分だけの時間が確保できない」、「お子様を同年代の子と遊ばせる機会がない(少ない)」となっている。

[子育てをしていて困っていること]

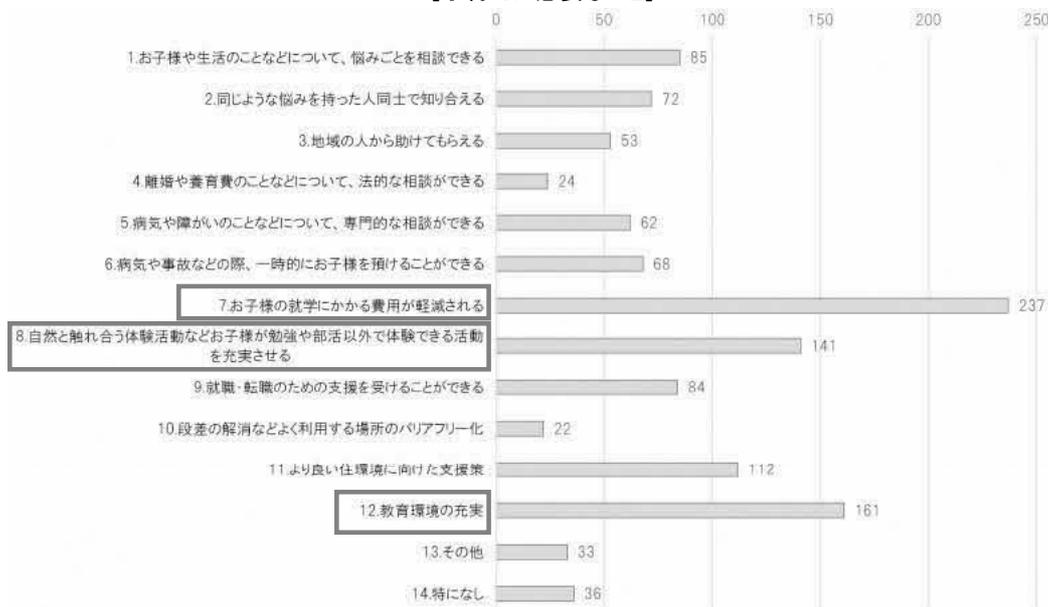


子育ての悩みは、遊びに行ける場所、同年代交流、自分時間確保

■子育てに必要なこと

子育てに必要なこととして最も多かったのは、「お子様の就学にかかる費用が軽減される」であり、次いで「教育環境の充実」、「自然と触れ合う体験活動などお子様が勉強や部活以外で体験できる活動を充実させる」となっている。

[子育てに必要なこと]



子育て支援では、就学費用、教育環境、自然体験など幅広活動

お気に入りの場所・行事・イベント

■大田市内の場合

お気に入りの場所として最も多かったのは、「三瓶山」となっており、次いで「大田市立中央図書館」、「イオンタウン大田」となっている。

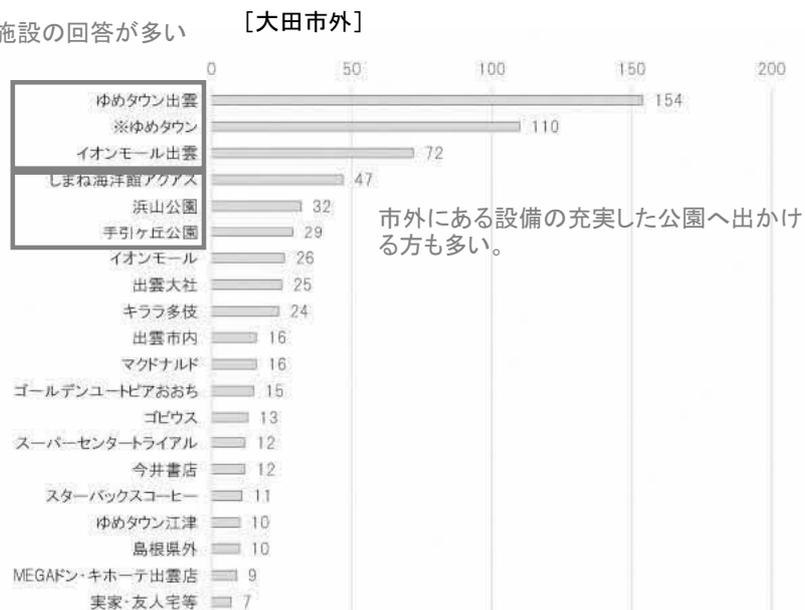


お気に入りの場所では、市内よりも市外の施設の回答が多い

■大田市外の場合

お気に入りの場所として具体的な名称が特定できる施設の中で最も多かったのは、「ゆめタウン出雲」となっており、次いで「イオンモール出雲」、「しまね海洋館アクアス」となっている。

大田市内よりも市外施設の回答が多い

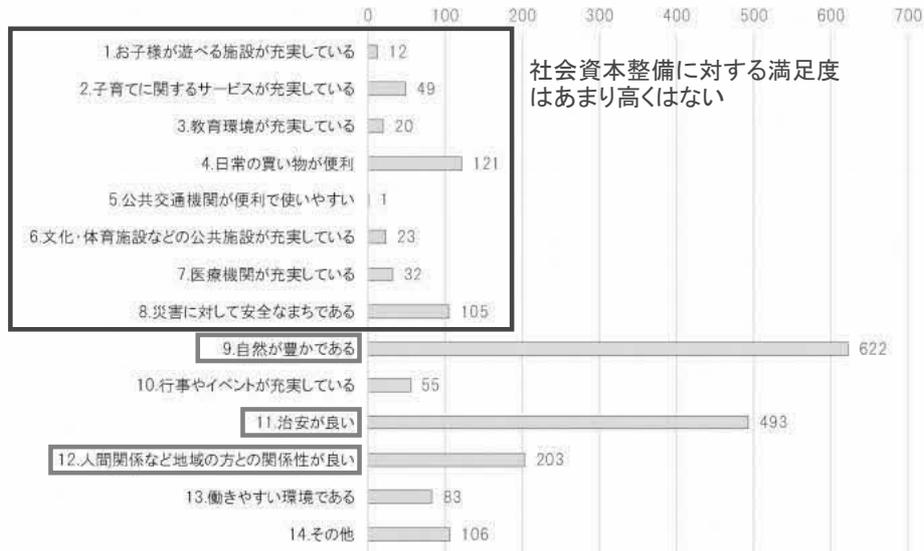


大田市に対する満足度

■満足度 (n=959)

大田市で満足している点として最も多かったのは、「自然が豊かである」となっており、次いで「治安が良い」、「人間関係など地域の方との関係性が良い」となっている。

[満足度]



自然、人間関係などが高評価。一方、社会資本への満足度低

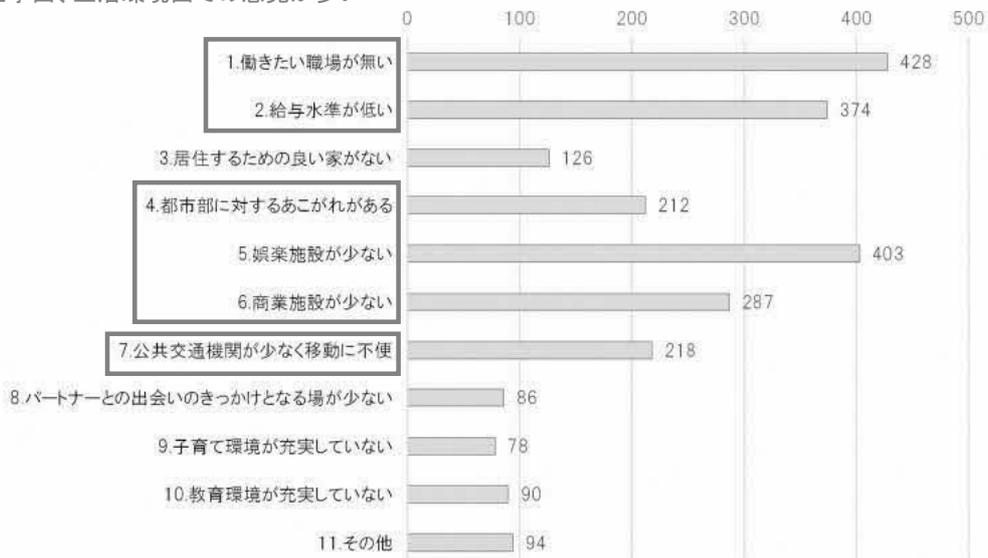
人口減少の要因

■人口減少要因

人口減少の要因として最も多かったのは、「働きたい職場が無い」となっており、次いで「娯楽施設が少ない」、「給与水準が低い」となっている。

[人口減少の要因]

仕事面、生活環境面での意見が多い



人口減少の三大要因は、仕事、都市機能、公共交通

2. 中高校生アンケート調査結果について

■中学生アンケート調査

【実施概要】

- 実施月
 - ・ 2023年11月～12月
- 調査対象
 - ・ 各中学校の2年生266人
- 回収数
 - ・ 回収数：206票 回収率：77.4%

※所属学校を問う設問は設けていない。

■高校生アンケート調査

【実施概要】

[学校別回収数]

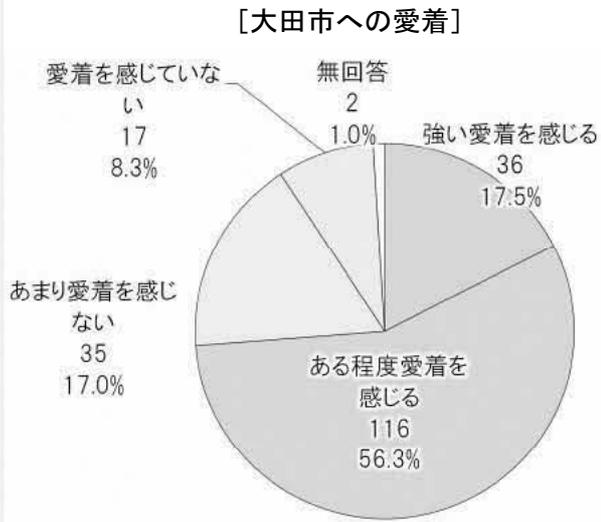
- 実施月
 - ・ 2023年10月
- 調査対象
 - ・ 各高校の2年生202人
- 回収数
 - ・ 回収数：190票 回収率：94.1%

学校名	対象数	回数数
大田高等学校	125	122
邇摩高等学校	76	65
出雲養護学校邇摩分教室	1	1
無回答	—	2
合計	202	190

■大田市への愛着

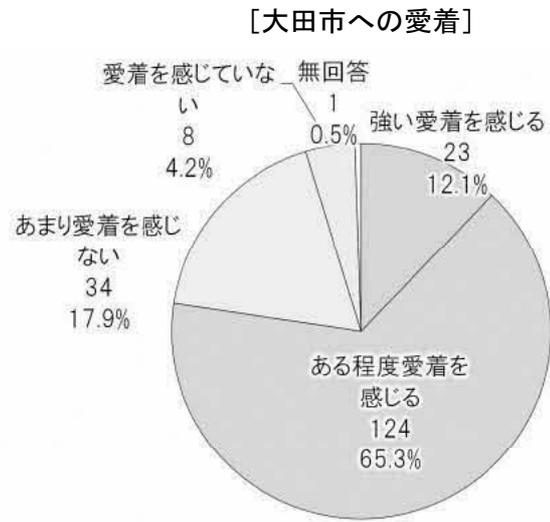
【中学生】

大田市への愛着について、「強い愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」が約7割を占めている。



【高校生】

大田市への愛着について、「強い愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」が約8割を占めている。

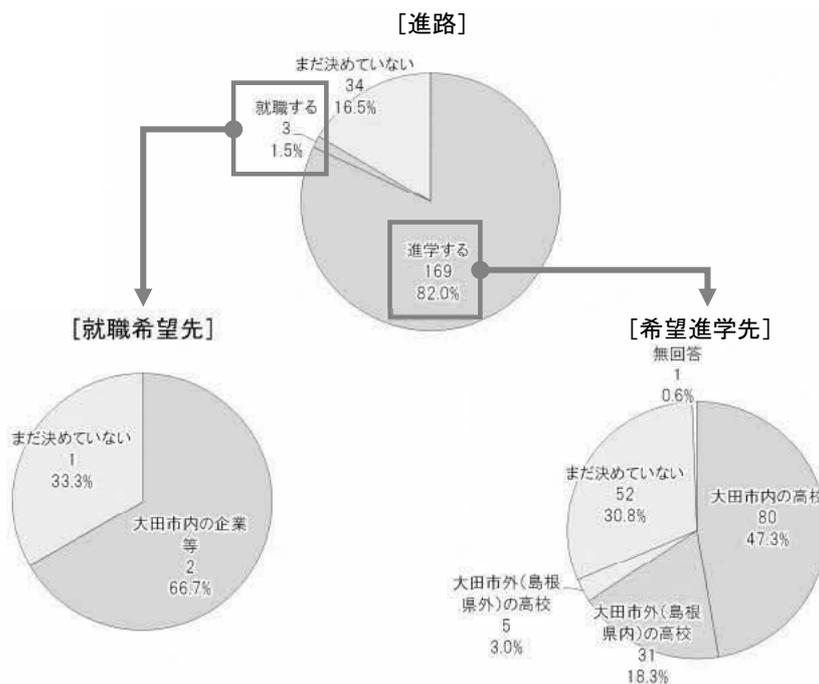


41

卒業後の進路、就職先について

【中学生】

進学希望者は8割となっているが、そのうち2割は市外の高校に進学意向がある。



ポイント17

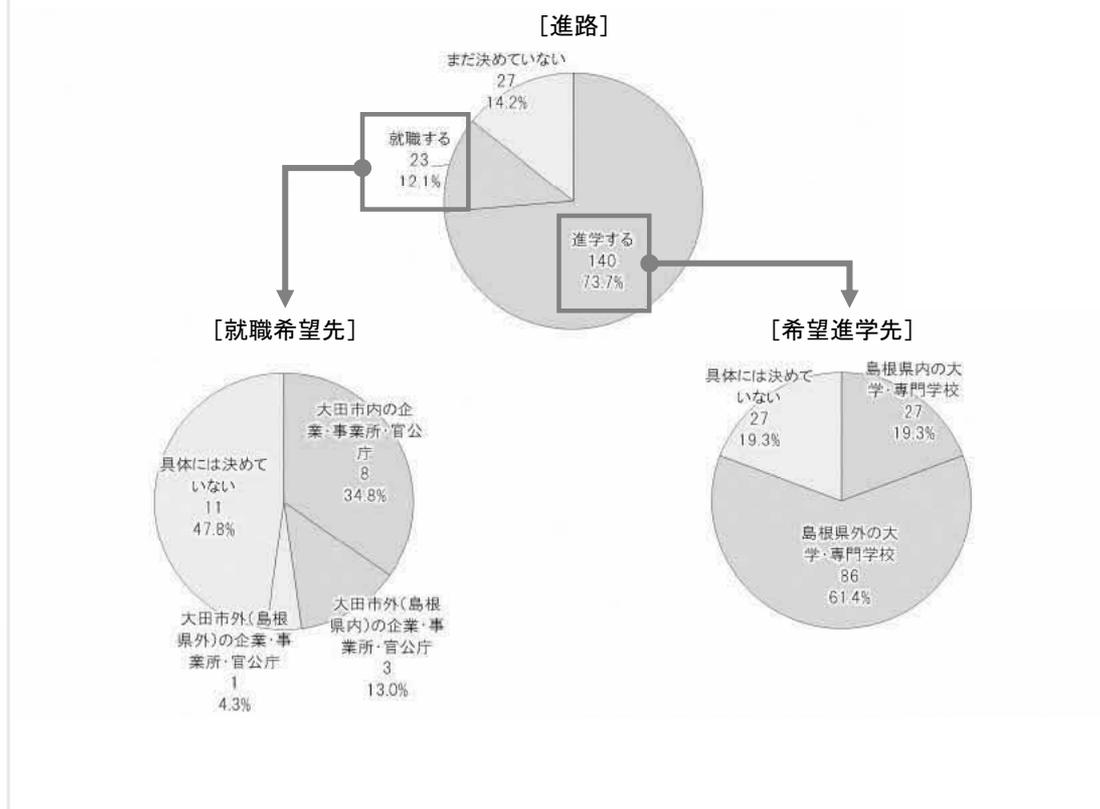
約2割は市外の高校に進学する意向がある

42

卒業後の進路、就職先について

【高校生】

進学希望者は7割、就職希望者は1割となっている。



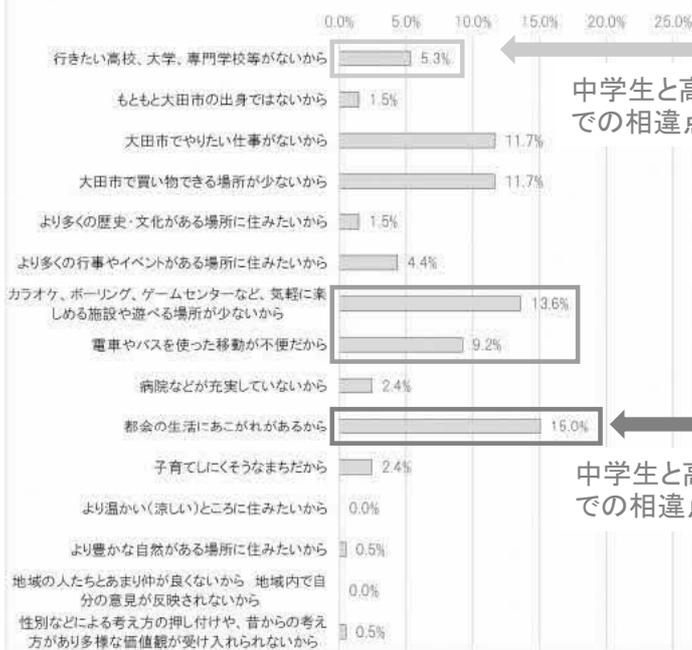
43

■将来的に大田市に居住しない理由

将来的に大田市に居住しない理由は、「行きたい大学、専門学校等が無いから」が最も多く、次いで「娯楽施設など遊べる場所が少ないから」、「電車やバスを使った移動が不便だから」となっている。

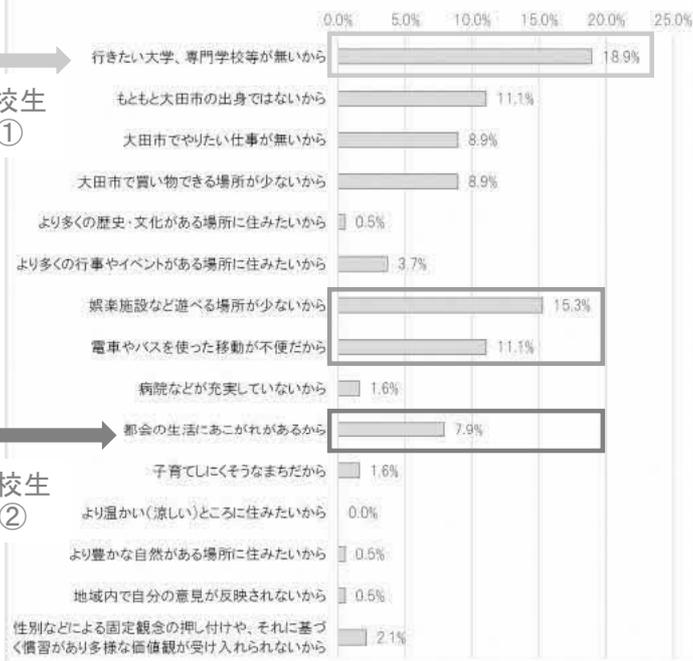
【中学生】

[居住しない理由]



【高校生】

[居住しない理由]



中学生と高校生での相違点①

中学生と高校生での相違点②

44

【市民・中高校生アンケートまとめ】現状と課題

ライフステージからみた現状

- 回答の約半数近くがUIターン者となっており、人口は流動的となっている。
- ふたり親世帯ターン者は結婚出産を機に来ており、独身世帯は転勤等のタイミングで来ている。
- パートナーとの出会いは、市内市外ともに半数の割合であるが、大田市に住みながらパートナーを見つけた人も半数以上存在する(ただし、出会いの場が大田市内であるとは限らない)。
- 子育てに関して、仕事と家庭の両立が難しい世帯も見受けられ、夫(男性)の3割は子育てで職場を休むことが出来ない状況にあるなど、男女差が存在している。
- 子育てに関する支援状況は、祖父母からの支援が大きく、居住関係が近いほど、その支援は手厚い。
- 特に経済的問題は、結婚期・子育て期の両方において意思決定に強く作用→所得確保と適切な支援。
- 中高校生アンケートでは、大田市に愛着を持っているものの、将来の居住可能性には迷いも見られる。

都市機能からみた現状

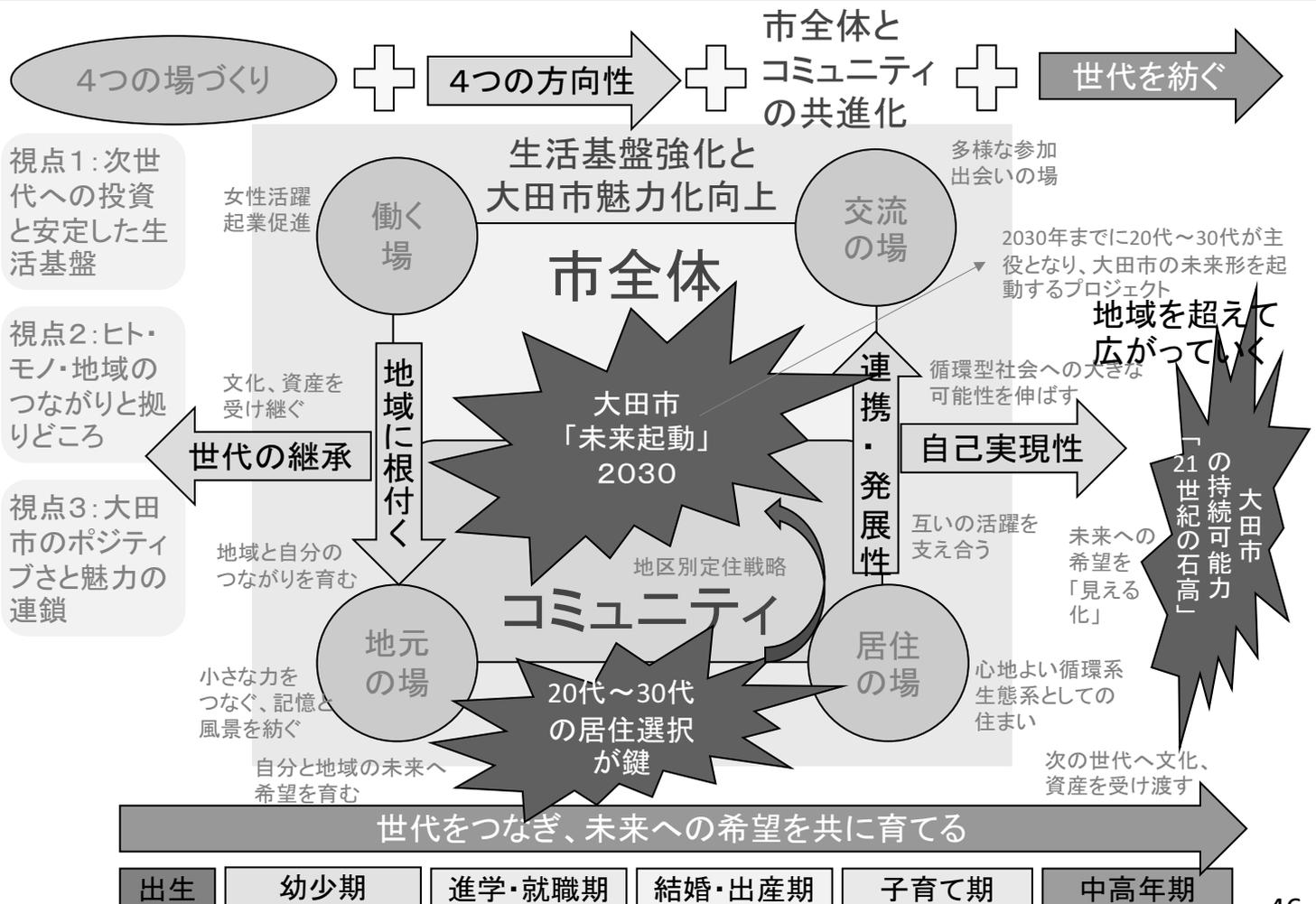
- 大田市に不足している点として、都市娯楽機能、職場、交通の3つの要因が挙げられている。
- 中心部と郊外部で、上記3つの要素に対する評価の違いがあまり見受けられない。すなわち、大田市全体としての求心力が低い状態となっている。
- 都市機能の集積が弱いため、子育て世帯からは子供が遊べる場所が少ない、若者からも娯楽施設が少ないなどの声があり、近隣市町へ出かける方が多い。
- 一方で、大田市において自然と触れ合う場や機会、種々の社会施設を望む声も多い。

浮かび上がってきた課題と方向性～もっと人をつなぐ

- 課題①:「夢」の共有～大田市としての可能性、魅力、持続力を地域内外の次世代が共有できていない
- 課題②:「場」の創出～楽しみ、出会い、子どもの体験・交流、仕事、支え合い、居住の多彩な場所創出
- 課題③:「動」の連鎖～多彩な「場」を結節点に、「ひと」がつながり、挑戦と共生の「動き」が連鎖

45

■「未来への希望を共に育てる大田市」に向けての4つの枠組み(試案)



46

4. 全国の関連事例紹介

宮崎県美郷町の挑戦

3年間で全24行政区で地区別定住戦略策定

■7月29～31日 ■事前実施 **行政区の人口診断**

行政区ごとの地域活動ヒアリング & 現地視察

合計3時間程度、定住状況や主な組織・団体・活動の現状についてお聞きすると共に、地域内をご案内いただきます。

●お願いしたいこと

地区ごとに、地域内の主な組織・団体・活動の現状についてお詳しい方、2～3名でのご対応をお願いします。また、現地内のご案内にも同行ください。



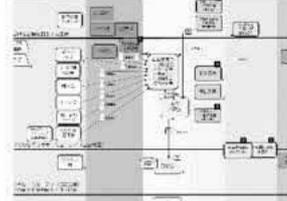
■8月中

地元関係図の作成

行政区内の主な組織・団体・活動・事業について、相互の関係や人、お金の流れ等を、一緒にまとめ、今後の地域ぐるみの定住や子育て、福祉などの事業展開に役立てていきます。

●お願いしたいこと

地域全体の動き、関係性の概要をご存じの方、主な事業組織について仕事の内容についてご存じの方と、電話やメールでやりとりして仕上げていきます。



■10月中旬以降

行政区ごとの未来会議「地元天気図」WS他

各行政区で年代別の増減の背景を考え、定住を増やす上での強みと弱みを検討し、今後の定住促進の方向を考えます。

●お願いしたいこと

各地区で若手(20代～子育て世代)とベテラン(50代～70代)の各4～6人、2グループでお集りいただき、話し合ってください。



ご報告

■11月以降

行政区ごとの報告会

本年度の予測や分析、検討成果を報告し、地区全体で共有し、今後の地区別定住戦略につなげていきます。

●お願いしたいこと

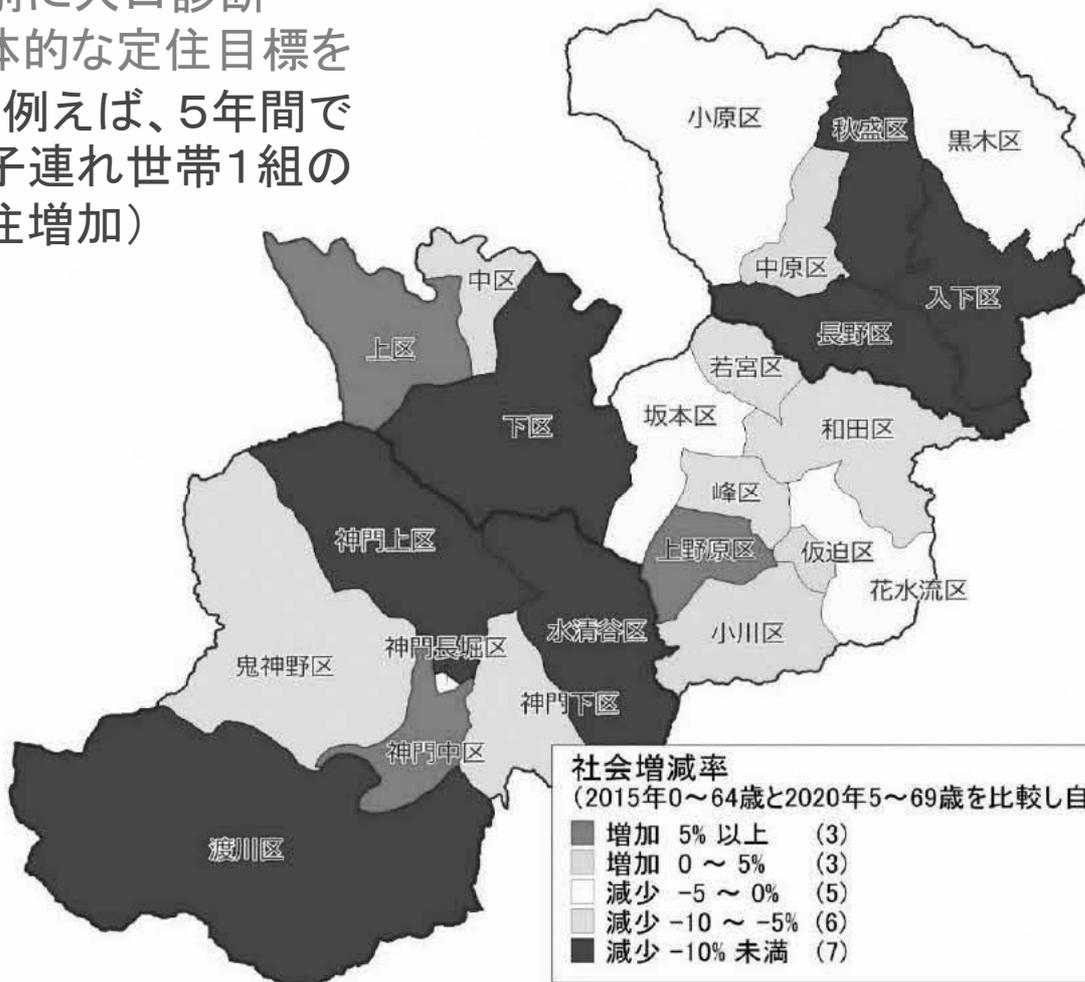
できるだけ幅広い住民の方に参加できる内容、時期、日時、場所を設定したいと考えています。



55

47

地区別に人口診断
→具体的な定住目標を共有(例えば、5年間で30代子連れ世帯1組の定住増加)



48



私達の定住目標



全体目標

つなぐ！渡川

3本柱

1. 住む場所の確保
2. “こんにちや”周辺の充実
3. 移住後のサポートの充実



取り組み項目

① 情報発信	インターネット・SNSを活用した情報発信 住民に向けた移住者の紹介 地区LINEグループの開設(地区内の情報共有システム) 定住促進に向けた地区PRポスターを作る 地区の魅力、横顔を伝える1分間動画を制作 移住者に向けた「暮らしの手引き」をつくる テレビのフォーアフターに応募する
② 定住促進	空き家を地元住民で低価格でリフォームする 空き家バンク登録等の活動を地域で推進する 宿泊施設(民泊等)を利用して体験滞在してもらう 休耕地を無料で貸し出す 定住の窓口役と案内人を整える →「こんにちや」を窓口として活用し、PR、発信の場とする
③ 女性・若者・子育て	婚活の場を設ける 子育てサポート(子ども預かり・寺子屋) 公園をつくる(子ども連が安心して遊べる場所) カフェをつくる(ゆったりくつろげる場所) 渡川にあった特産品が必要
④ 産業・起業・流入・仕事づくり	農業・林業の法人化が必要 渡川版ハローワークが必要 コイン精米機が「こんにちや」前に必要 地域の人連どのふれあいの場をつくる
⑤ 暮らしサポート	食事サポート(みんながいつでもよりよいできる食堂や弁当運送、場所をつくる ※渡川マンマの拡大)
⑥ 総論	子ども・高齢者・移住者のみまもり隊をつくる(相談役) 地域の交通・関係人口の増加のためのバスツアーを企画

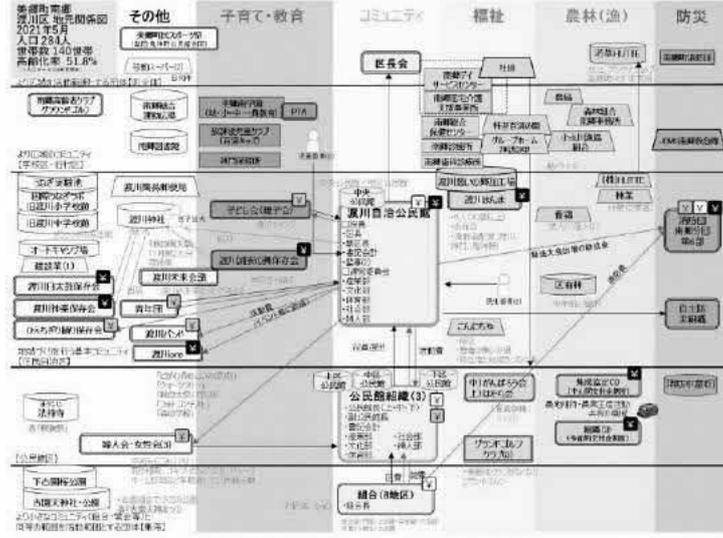
R4年度事業計画(案)

- 情報発信事業
- 渡川の特産品開発
- 渡川で住む場所の確保
- 移住・定住に関する拠点施設整備事業

ちくせん実行委員会組織



各地区の定住戦略を紹介するポスター掲示例



24地区の色&漢字を揃えて、多彩な美郷町の魅力を発信！

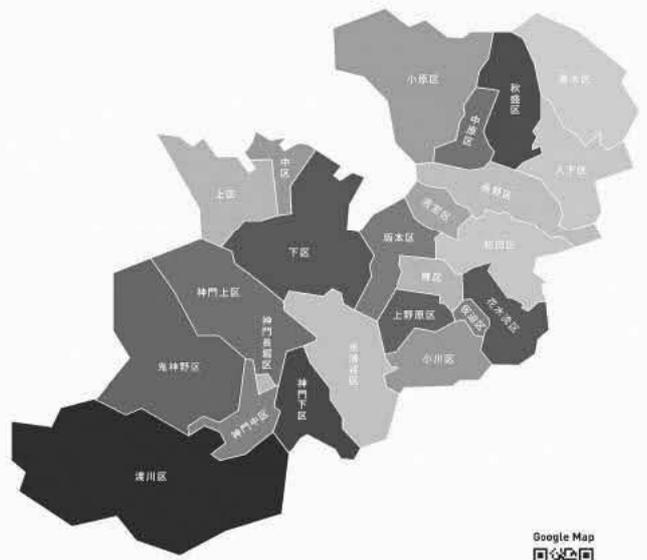
宮崎県
住
美郷町

22世紀のふるさとも目指して

同じ町でも、地区によって魅力も課題も違うから、自分たちが地区の未来を築いていく。いつまでも、楽しく住みやすい場所にするために、「ちくせん」は、24区ごとに町民が自ら戦略を立てて取り組んでいる活動です。

Official Site

MISATO TOWN MAP



MISATO TOWN

山	集	梁	盛	石	進
上	神	和	結	花	話
空	桜	滝	光	川	青
笑	鬼	群	憩	中	訪

24全地区で、わかりやすい「暮らしの手引き」を作成

LIVING GUIDEBOOK

西郷・花水流区 暮らしの手引き



上：彼岸花と耳川 中：コスモスと子どもたち

どんな地区？



こんな地区です

日向市から車で約30分、美郷町の玄関口とも言える地区で、国道327号、耳川沿いにある「花」と「水」に恵まれた地区です。四季折々の花を楽しむことができ、梨、栗、金柑の生産地でもある当地区には栗さんどん販売所やカフェもあります。また町を代表する観光施設「石岬レイクランド」もありウェイクボード体

何人が暮らしている？

人口：129人
世帯：57世帯
高齢化率：49.60%
子どもの9人
(2022年5月時点)



暮らしの覚え書き

年間行事	集落のメモ	会計
新春 1月 歩こう会	●常会 2月、4月	[必須] 区費 20,000円/年
役員選挙 2月 総会	●組織 花水流公民館 全寿会 子ども会 農用地管理組合	[任意] 御田祭費 1,000円/年 炊餅り費 1,000円/年 まつり費 1,000円/年 ほか
3月 桜まつり		
4月 通常総会		
5月 花水まつり		
6月 さのぼり		

困ったことがあればこちらに連絡！ 総務担当：川口裕之 (携帯 090-6932-)

地区の人たちからのひと言



区長 / 小野圭一

元気なベテラン年齢の人々で活気がある花水流です。これからの地域づくりを一歩に少しずつでもどうですか？来て見て、触れてみて、花水流の良いところ感じてください！★何かがある花水流★是非、お越しください。



移住者 / 小村走馬

花水流地区の皆さんは人柄が良いためコミュニケーションを取り易く大変助かりました。公共交通機関が充実していないなど不便なことはありますが、のんびりとした空気が流れるこの地区で充実した生活を送っています。



暮らしを楽しむイベント

地区の暮らし



春～夏/草刈り 田植えが終わった頃、浴池や公園の草刈りなどを行っています。



秋/彼岸花まつり 国道沿いに彼岸花を植栽しており秋の彼岸に花見を楽しみ親睦を深め



秋/愛宕神社大祭 毎年11月に開催し農産物の展示や餅まき、演芸大会なども行われ



冬/新春歩こう会 区民のみならず滞客された方も多数参加します。お楽しみ抽選会もあ

地域になじむ

暮らしのポイント

1. 毎日ストレッチで健康づくり
2. 地域のルールを守ろう
3. 地区の行事には参加しよう
4. 世代間交流を楽しもう
5. 四季折々の花を咲かせよう



地区の未来のこと

こんな地域を目指しています

私たちのちくせん(地区別定住戦略)紹介

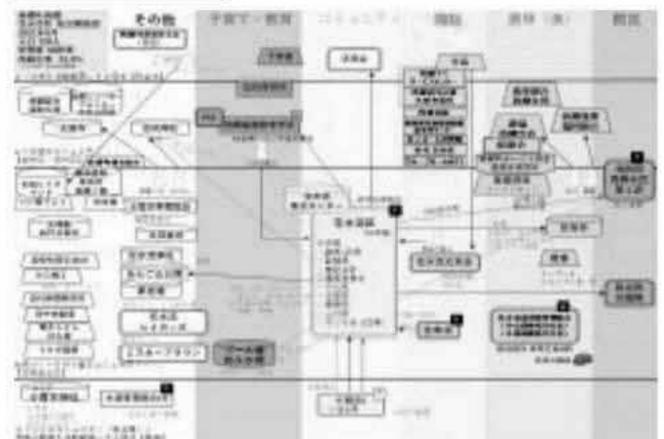
全体目標 みんなで咲かせる 明るく住みよい地域

- 3本柱
- ・情報 SNSで知ってもらおう
 - ・人と人との交流
 - ・核となる新しい集会所の利用

地区の色と漢字
色：「紅」
花水流を代表する花「彼岸花」のカラー
漢字：「花」
花水流地区を「花」いっぱい

ちくせんとは？ 令和2年より市内24区が地区別に戦略をたて、人口減少をとめるための地域発の活動を行っている。

地元にある組織、団体の紹介



子どもが増えた！

明石市 人口増・税収増の自治体経営

湯浅誠 泉房穂 藻谷浩介
 村木厚子 藤山浩 清原慶子
 北川正恭 さかなクン



光文社新書
992



ISBN978-4-334-04398-8

9784334043988

C0231 ¥



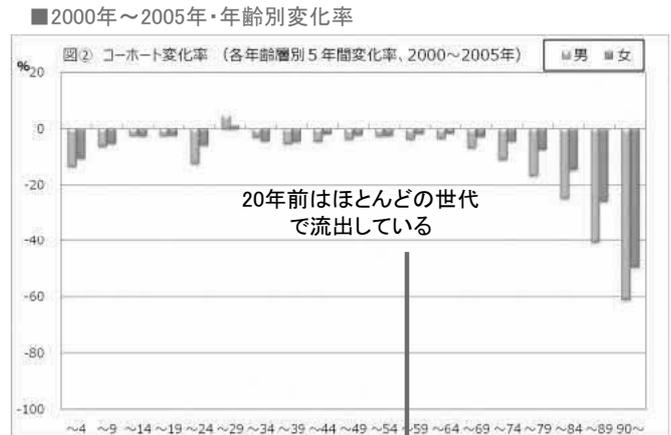
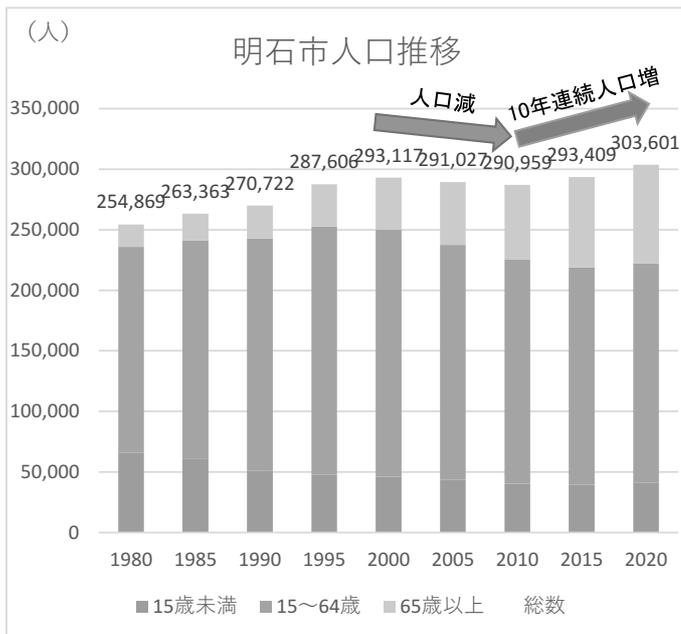
定価(本体 円+税)

なぜ「やさしいまち」が成長するのか—6人のプロが本気で分析



～兵庫県明石市の事例～

10年連続で人口が増加。子供だけでなく、全ての人にやさしいまちづくりを進めている明石市。



- ・10年連続人口増
- ・子育て世帯の転入が増加
- ・兵庫県内でも唯一人口増の自治体

5つの無償化と寄り添い支援を始めとした取組により成果を出してきた明石市。

■5つの無償化

- ・18歳までの医療費無料
- ・第2子以降の保育料無料
- ・中学校の給食費無料
- ・公共施設の遊び場無料
- ・おむつ定期便(0歳児見守り訪問)無料

■寄り添い支援

- ・養育費の立替払い
- ・子ども食堂を全ての小学校区で開催
- ・戸籍のない子どもの支援
- ・優生保護法被害者支援
- ・犯罪被害者支援・更生支援

■その他支援

- ・本のまち
- ・同性パートナーシップ制度の導入(ファミリーシップ制度)

■住民自らの取組

- ・商店街のバリアフリー化



今、明石市が熱い！～関西圏子育て世代流入NO1
～市役所がスペース借り上げ、多世代で市民パワー結集



「子ども食堂」から高齢者の「集いの場」まで多彩な活動



地方都市では珍しい活気あふれる駅近くのアーケード街



駅前には子育て支援、図書館等の複合センター

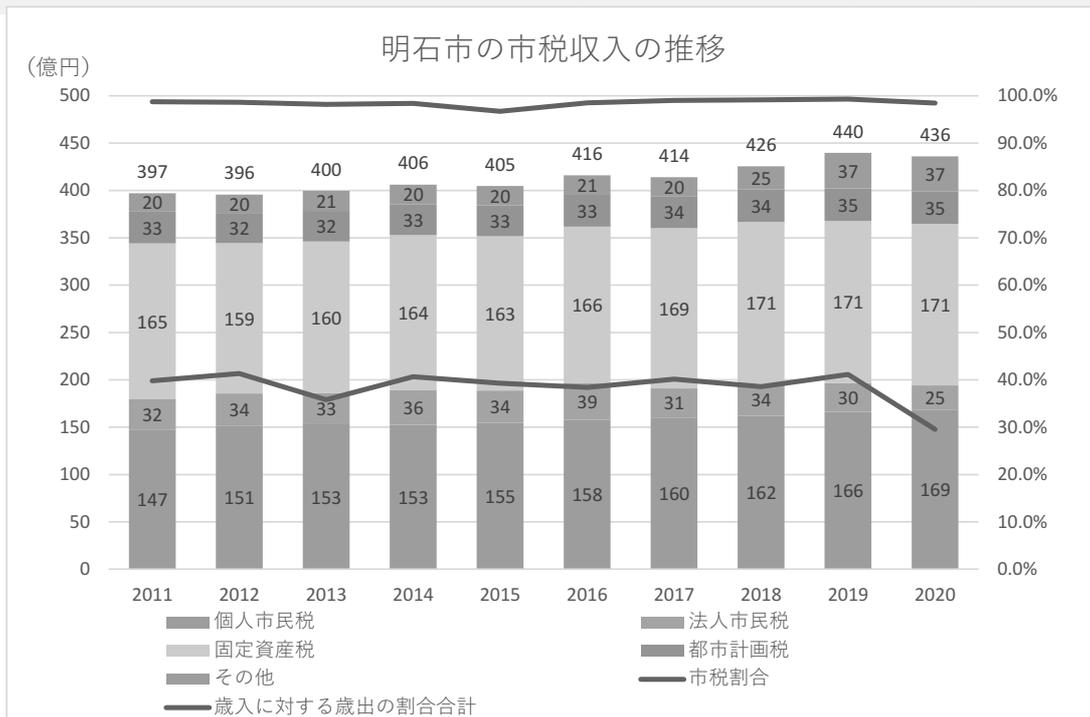


61

●子育て世代流入 ~兵庫県明石市の事例~
 ●土地・建物価値上昇

取組の成果

●個人市民税及び固定資産税などの市税は増加。



※個人市民税：普通会計の状況シートより個人均等割と所得割の計
 ※法人市民税：普通会計の状況シートより法人均等割と法人税割の計
 ※その他：普通会計シートより軽自動車税、市町村たばこ税、鉱産税、特別土地保有税、法定外普通税、入湯税、事業所税、水利利益税等、法定外目的税、旧法による税の計
 ※市税割合：普通会計の状況シートより歳入の決算額に対する地方税の合計の割合

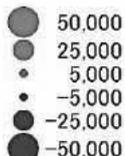
島根県中山間地域家計調査の結果概要 (by中山間C/有田研究員)

子育て世帯の収入・支出・貯蓄の特徴 (50世帯/対象120世帯)

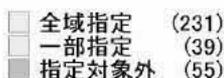


●21世紀の石高制~持続可能性を見える化

食料自給の例: 米
大字単位別人口集計



中山間指定状況
旧市町村別



大田市の江戸時代
石高=31,572石!

食糧
エネルギー
水資源
浄化能力
等を総合診断

<想定>2005年データによる
1人当たり年間米消費量60kg
=1a当たり米最大生産可能量
として、旧村エリアごとに経営耕地
面積を基に、扶養可能人口と国勢
調査人口と比較し、差分を計算

両県の全域中山間地域
のエリアで264万人分
の余剰生産力
(中山間地域以外の地域で
は141万人の不足)



「先着●名様宣言！」

疎開保険で関係人口 & 「パートナーエリア」形成

萩市「萩フレンド保険」実施

想定される津波

“南海トラフ 巨大地震。津波・被害想定公表へ”

智頭町

いざという時は、大田市へ！

南海トラフ地震

首都直下地震

将来は「食料保険」へ進化

自治体発！自治体初！災害時に備える いざというとき 智頭町が行う援助の手

智頭町“疎開”保険

ちづちょう そがいほけん

「疎開保険」とは、鳥取県智頭町が独自に企画した災害を切り口とする地域間交流、物流、商流による地域おこしです

広域的な災害連携の必要性

65

地域の新たな魅力の発見につながる「地元学」

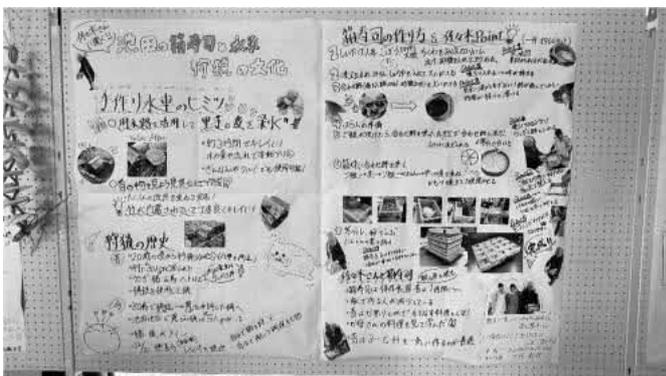
①職人技をその場で披露



②現地案内人(地域住民)から知恵や技、想いを伺う



③模造紙にまとめる



④地域の皆様の前で発表



66

第2部：委員会内での主な意見とその集約結果

調査検討委員会を立ち上げ 人口減少対策について検討しました！

【概要】

- 調査検討委員会は、大田市において結婚・出産・子育て・教育等に深く関わっておられる皆様と市民公募により応募いただいた皆様からなる委員会です。
- 大田市の様々な人口分析や調査結果をもとに全5回の委員会を開催しました。
- 座長は島根県立大学講師の村岡詩織氏が務めました。

【分析から得られた3つの事柄】

■人口減少の要因

20歳前後の女性流出超過、取り戻しが弱い

■地域特性

地区によって大きな人口動態の違い
⇒特色ある地域づくり

大田市全体としての
魅力・求心力の向上

■持続可能な地域づくり

大田市の長期的持続可能性



【大事にした検討の視点】

- 大田市全体⇔地域
- ライフステージ(子ども、若者・親、おじいちゃん・おばあちゃん)
- 大田市の持続可能性



67

【全5回の検討委員会の概要】

回	日時	テーマ	主な議論
1	6/19	人生グラフの作成と人口動態の共有	現状の把握
2	7/31	ヒアリング調査結果の共有と行政施策天気図ワークショップ	現状の把握、行政施策評価
3	10/27	アンケート調査結果の共有とアクションプランの検討	現状の把握、対策の検討
4	12/19	アクションプランの具体化と次なる一歩を踏み出すために	対策の検討、提言
5	2/19		

■「大田市総合的な人口減少対策事業」調査検討委員会 委員名簿

	分野	所属機関	委員氏名
1	有識者	公立大学法人島根県立大学 講師	村岡 詩織
2	保育所関係者	大田市保育研究会 副会長 (あゆみ保育園 園長)	海原 泉
3	学校教育関係者	大田市校長会 会長 (大田市立第一中学校 校長)	和田 美佐
4	子育て支援団体	大田市子育て支援団体連絡会 会長 (森のどんぐりくらぶ 代表)	松場 奈緒子
5	労働者代表	連合島根西部地域協議会大田地区会議 (帝人コードレ労働組合 組合員)	尾崎 楓
6	子育て当事者	大田市青年協議会 会長 (JALまね石見銀山青年連盟)	渡邊 徹
7	子育て当事者	保育園保護者会 (あゆみ保育園父母の会)	中村 沙也加
8	子育て当事者	大田市立公立幼稚園PTA連合会 会長 (大田市立大田幼稚園PTA 会長)	尾原 智貴
9	子育て当事者	大田市PTA連合会 会長 (大田市立大森小学校PTA 会長)	小野寺 久美子
10	結婚支援	大田はぴこ会 会長	平田 久美子
11	女性政策	公益財団法人しまね女性センター	漆谷 佑美子
12	公募委員		宮里 陽子
13	公募委員		壺倉 祐磨

実際の検討の場においては上記メンバー加えて、庁内連絡会議より、

政策企画課、まちづくり定住課、都市計画課、産業企画課、子ども家庭支援課、子ども保育課、学校教育課学事・魅力化推進室も会議に加わり、議論を行いました。

68

■人生グラフ

- 人口の流入の要因を考えるためのきっかけとして、委員一人ずつの人生模様を描いた「人生グラフ」を作成し、内容を共有いただきました。

ポジティブなこと	家族も友達も大好きで毎日楽しい	すぐに友達が出来て嬉しい	学校で出会った友達と楽しい	一人暮らしが出来るのが嬉しい	都会へのあこがれ	結婚した	家族との楽しみが増えた
	大人たちがいろいろ企画してくれて楽しい	学校内で一躍注目される	大田市内に就職	地元の仲間が存在	子供が誕生した	子供医療費が無料でありがたい	祖父母の育児協力
ネガティブなこと	保育園に一人で入学。不安。	親の都合で引越、転校	交通の便が悪い	自宅から通える大学が無い	一人暮らしの孤独	結婚を機に大田市を出る	子育てと仕事の両立が大変
			就職により自由な時間が無い	転職したいと思える企業が無い	産後ブルーを経験する	産後ブルーを経験する	子供が反抗期に入る
			相談相手が近くにいない	かかりつけ医が決まらない	近所(自治会)とのつきあい	近所の商店がなくなる	病院の予約に合わせられない
							小児科の選択肢が少ない
							子供にかかるお金が想像より多い
	出生 0~4歳	幼少期 5~14歳	進学・就職期 15~24歳	結婚・出産期 25~34歳	子育て期~ 35歳~		

18,19歳の時に多くの人は進学や就職で一旦大田を出ていると思いますが、その時の気持ちを思い返してみると、住み慣れた地域から出るのが悲しい・寂しい気持ちと、その一方で一人暮らしができるというワクワク感の両方の気持ちを持っていました。



まとめ

- 人生グラフ作成を通じて、「大田を出るときの気持ち」やUターン・Iターンの違い、外からの大田市の評価と中にいることで感じる居心地の良さ、そしてなかなか気づきにくい行政サービスや地域の支援による根底の支えがあったことが分かりました。

■ヒアリング調査結果の共有

各地域で素敵な取組が行われています！

地域ぐるみでドッグランを整備！



移住者が地域食堂開設！

移住された方が地域食堂を開く。地域の食材を使用し、ワンコインあれば誰でも参加できるこだわりの食堂。

移住の決め手は夕暮れコンサート！



地域の雇用を担い、住まいを提供する地元企業



まとめ

ヒアリングを通じて、既に大田市には素晴らしい取組がたくさんあることが伺えましたが、点の取り組みだけでは不十分で、連鎖的に取り組んでいくことが重要であるとの気づきを得ました。また、地域内での情報共有の不足や、若い世代が求める環境づくりが不十分であることなどが共通の課題として見えてきました。

■大田市の施策に関する天気図ワークショップの結果

人口減少対策に関連する行政の各事業について、天気図マークを使って「良い」もしくは「もう少し頑張る必要あり」で評価しながら、現状の施策に対する意見交換を行いました。

同級生で集う場が少ないと思う
運営に負担はないか？(出会いの場に！)
実は昔、毎日のように空き家を探していた。
どこまでマッチングにつながっているか
今どきの出会いの機会が提供できている
事業名から内容が伝わらない
参加された方が、大屋神楽のファンになりました。
■上記施策以外
にここに巡回訪問がもっと知れ渡って充実してほしい

夫婦関係の危機で妻のケアをしていただいた。
子どもが4人いて医療費が無料なのがとてもありがたい
同じく5人なので助かる。
きっと良いことをしてくれているのだけれど、自分でちゃんと調べないと内容が分からない。子どもを気軽に参加させられることが可能？
運摩高のコーディネーターさんがいなくなったので、児童と生徒さんの関わりが減った。
共働きで町に放課後児童クラブが出来て本当に助かっている。子供達も毎日行きたがる素敵な場所です！
兄弟がいない、少ない子どもにとって、思春期の時に赤ちゃんを抱っこしたり、一緒に時間を過ごすことが素晴らしいと思った
HPを見てもどの学校も同じ内容のため特徴が分からない
魅力化推進員の配属が今年からなくなった。

産後ケア事業が素晴らしい、私も使いたかった。
働く女性が切迫になりやすいこと。経営者みんなに知ってほしい
教育と産業系が繋がると、更に良い循環が生まれると思う
集まる場所があるということはずっと知っていたが、何となく行きづらかったため、知り合いが居なくとも常にオープンに行きやすい場になって欲しい



まとめ
 ・“教育と産業”“移住と教育”など分野間での連携が出来ると良いとの意見が出ました。
 ・今後大田市にとって有意義な事業を考えるための視点として、各事業のあて先というところを意識するとより良い気づきが得られるのではないかと意見が出ました。

第3回 アンケート調査結果の共有とアクションプランの種の検討

■一時預かりについて



子育て支援に関しては満足度が高いものの、まだ認知されていないものがあったり、利用しにくいものもあるんだということが分かりました。

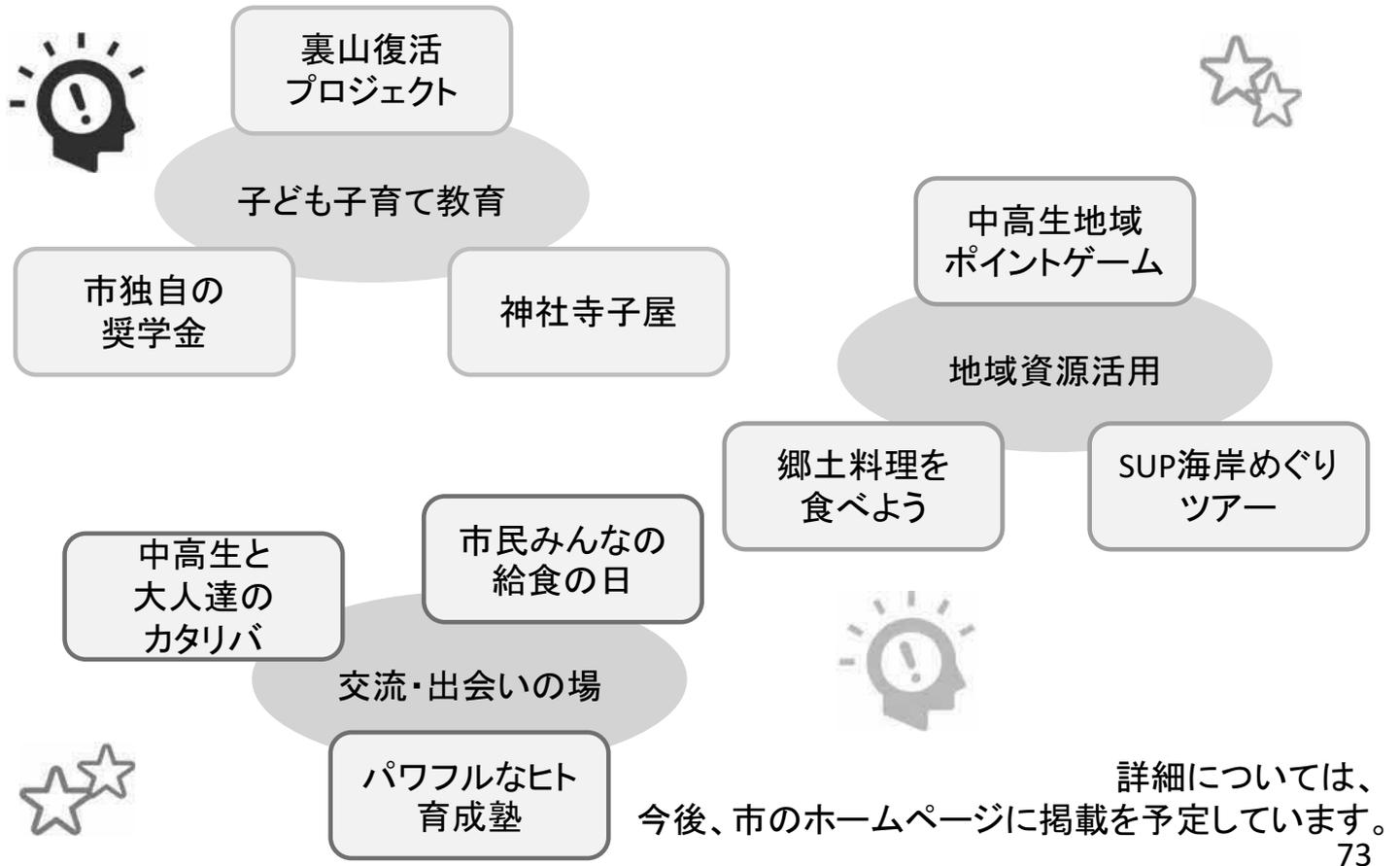
■子育てをされていて困っていること

地域の交通の不便さや子育て中の親の時間不足などに対する不満がある一方で、昔は同様の問題があってもそれが普通だと受け入れられていたと思います。このことについて、多少生活に不便があっても大田市に住むメリットを見出し、全体として幸せだと感じる考え方に行くことは出来ないのでしょうか。



■アクションプランの種の検討

これまでの人口分析結果やアンケート調査結果をもとに、大田市全体としてはこういう仕組みが必要ではないか、地域の中ではこういった取り組みが必要なのではないかというアクションプランの種を全70案検討しました。以下、一部をご紹介します。

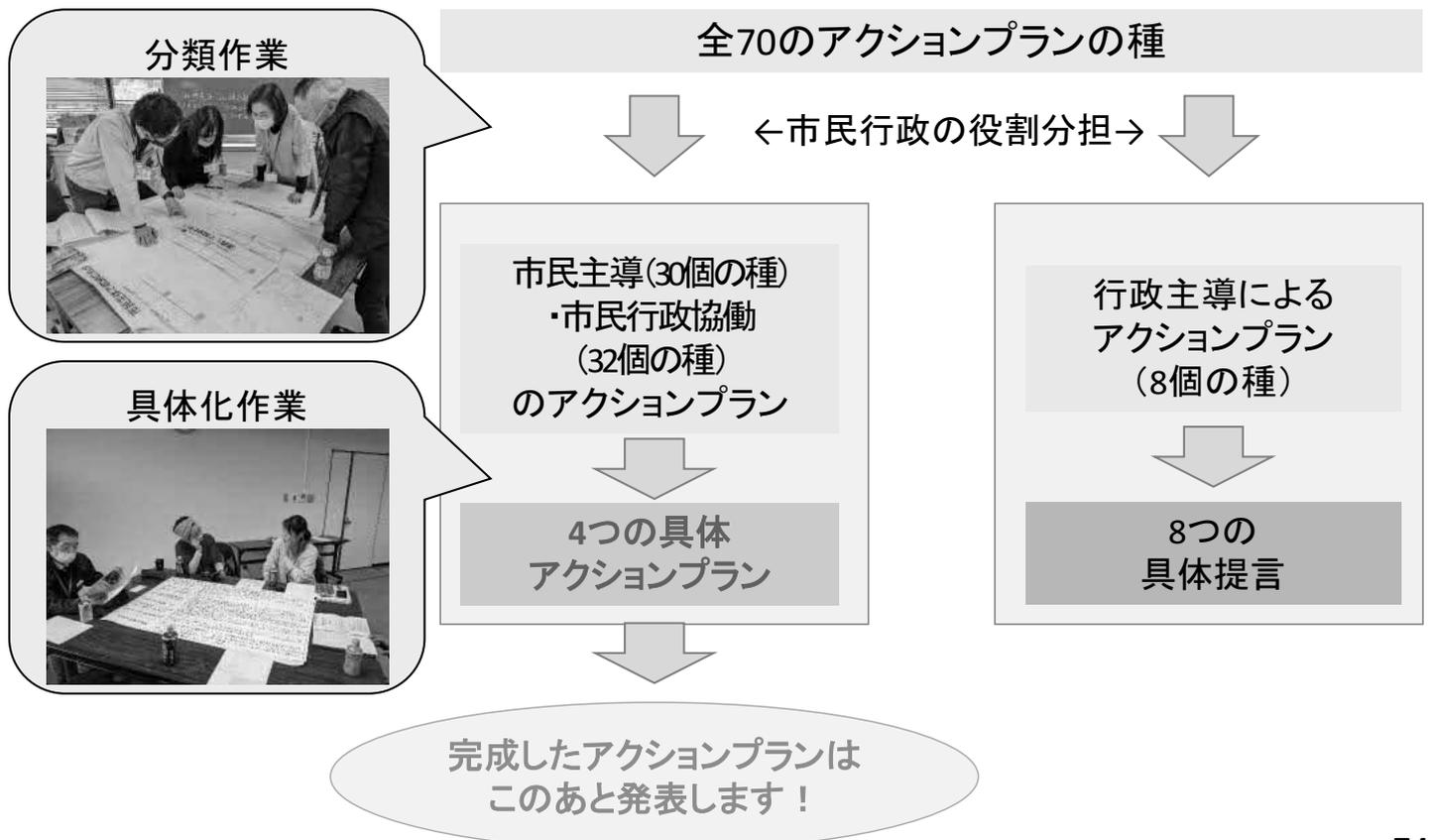


第4～5回

アクションプランの検討

■アクションプランの具体化

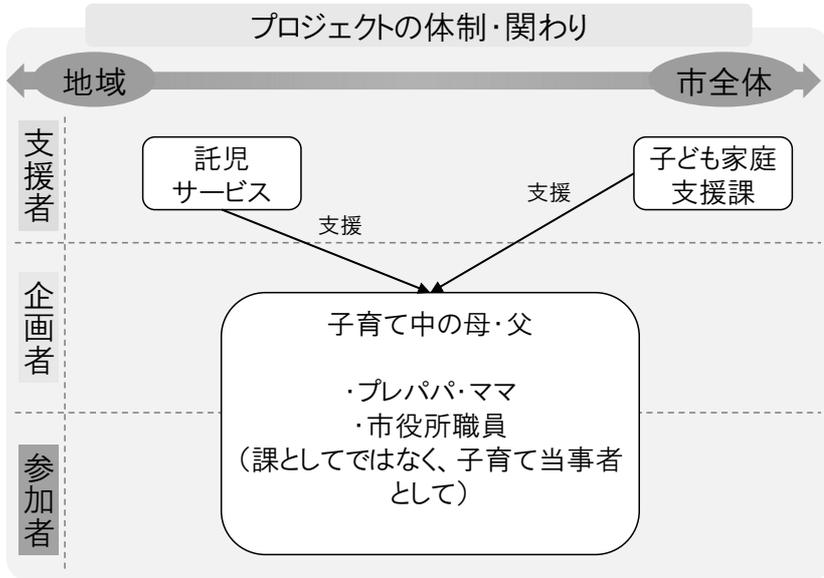
第3回で検討した70のアクションプランの種について、「市民主導」「市民行政協働」「行政主導」の3つに分類し、そのうち4つの取組についてはより詳細な検討を行いました。



子育て世代にやさしい まちづくり

子育て世代を対象に、満足していること、課題に感じていることや要因を話せる機会を提供する(不満を言うだけでなく、提案が出来るように)つながりづくり。

特にこの世代にアプローチしたい！



プロジェクトのポイント

- ・ 積極的な託児を促すことで、子育てする親自身の個人の時間が確保できる。
- ・ 頑張らない・リフレッシュ・何もしない日を作る
- ・ R10年からは駅前でも
- ・ 遊び目的+相談可

プロジェクトの懸念点・今後の検討課題等

- ・ 託児してもらえる場所の把握
- ・ 参加しやすい場所・日程調整
- ・ 気軽に話しやすい雰囲気づくり

4コマ漫画



こんな楽しく取り組む声が聞こえてきます

1コマ目

両親がリビングで疲れた様子で座り込んでいます。周りにはおもちゃが散らばり、日々の育児の大変さを物語っています。表情からは子育ての重圧が感じられます。

2コマ目

両親が「子育て支援お試しチケット」のチラシを手にしています。少し使ってみようかなと前向きな気持ちになっているようです。

3コマ目

両親が他の親たちと交流し、子どもたちが安全に遊んでいる様子が描かれています。この交流を通じて、子育ての悩みを共有したりしているようです。また、時には、美容院や病院なども行き、気持ちをリフレッシュしています。

4コマ目

家族がリビングで幸せなひとときを過ごしています。子育て支援を受けたことで明るい笑顔と新たな希望が感じられます。

～大田市の子育て支援事業について～

■一時保育

保育所等に入所していない子供さんで、出産・急病・看護・育児疲れ解消等のため一時的な保育を必要とされる家庭を対象に、保育を行います。

市内実施施設：16施設

■延長保育

保育所の通常の開所時間の前後に30分～1時間延長して保育をします。

市内実施施設：11施設

■病児保育・病後児保育

児童が病気のため保育園では看てもらえないときでも、病気の回復期であれば、専用の保育室で、看護師などと保育士と一緒に、看護しながら保育します。

市内実施施設：1施設

■子育て支援センター

子育て支援センターは、育児相談やさまざまな子育ての支援を行っています。親子が気軽に立ち寄り、安心して遊び、気軽に相談もできます。

市内実施施設：3施設

■ファミリーサポートセンター

「子どもを預けたい」「子どもを預かりたい」という人が会員となり、子どもの送迎や一時預かり等の育児援助を行うことで、仕事と家庭の両立支援を図ります。あらかじめ会員登録が必要です。

～4つの育児お任せ支援サービスの展開～

「大分県豊後高田市の取組」

豊後高田市の子育て支援は、地域全体で育児の負担軽減に力を入れています。例えば子育て支援拠点施設においては、子どもの遊び場としてだけでなく、親同士の交流や相談ができる場所として無料で提供しています。さらに、通院、就職活動、保護者のリフレッシュのための一時預かりサービス(就職活動に伴う一時保育も無料)も実施するなど、市として積極的に子育て支援をPRLし、地域社会としての育児支援の充実を図っています。



子育て支援拠点「花っこルーム」

小さなお子さんのいる方が誰でも気軽に利用できる室内公園のような場所です。それぞれ特色あるひろばになっています。その日の気分でお出かけしてみたいかがでしょうか?

【開所時間】9時～16時 ※ルームによって開所日時が異なります。



花っこルーム真田の様子



花っこルーム真玉の様子



花っこルーム香々地の様子

ママ家事サポート

産前産後のママの家事・育児を「家事サポさん」がお手伝いします。食事の準備・後片付け、掃除、洗濯、離乳食、沐浴補助など。

【利用料】1回 2時間 500円(1人5回まで利用可能)

充実の保育サービス

保育園や花っこルーム高田・香々地で、一時的にお子さんをお預かりします。

- ◆一時預かり 4時間 800円～
(病気やリフレッシュ等)
- ◆ワンコイン保育 4時間 500円～
(月60時間未満の短期就労)
- ◆休日保育 1日 1,500円～
(日曜・祝日の就労等)
- ◆就職活動時の一時保育 4時間まで無料



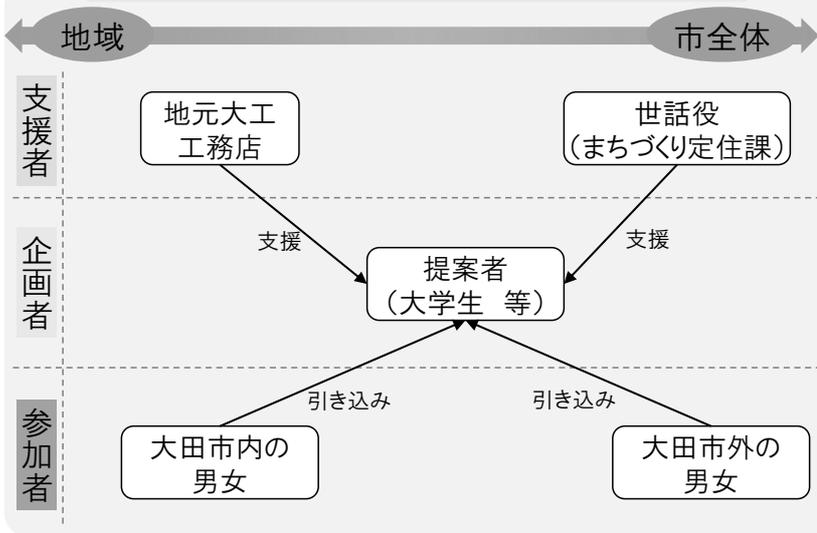
地域資源活用サークルで 男女の出会い創出

廃材を利用して机や椅子などの家具を男女が協力して手作りする過程で、自然な形で交流と出会いを促します。このプロジェクトを通じて、参加者同士が協力し合いながら何かを創り出す過程で、新たなつながりや、人生を共にするパートナーとの出会いに繋がることに期待しています。

特にこの世代にアプローチしたい！



プロジェクトの体制・関わり



プロジェクトのポイント

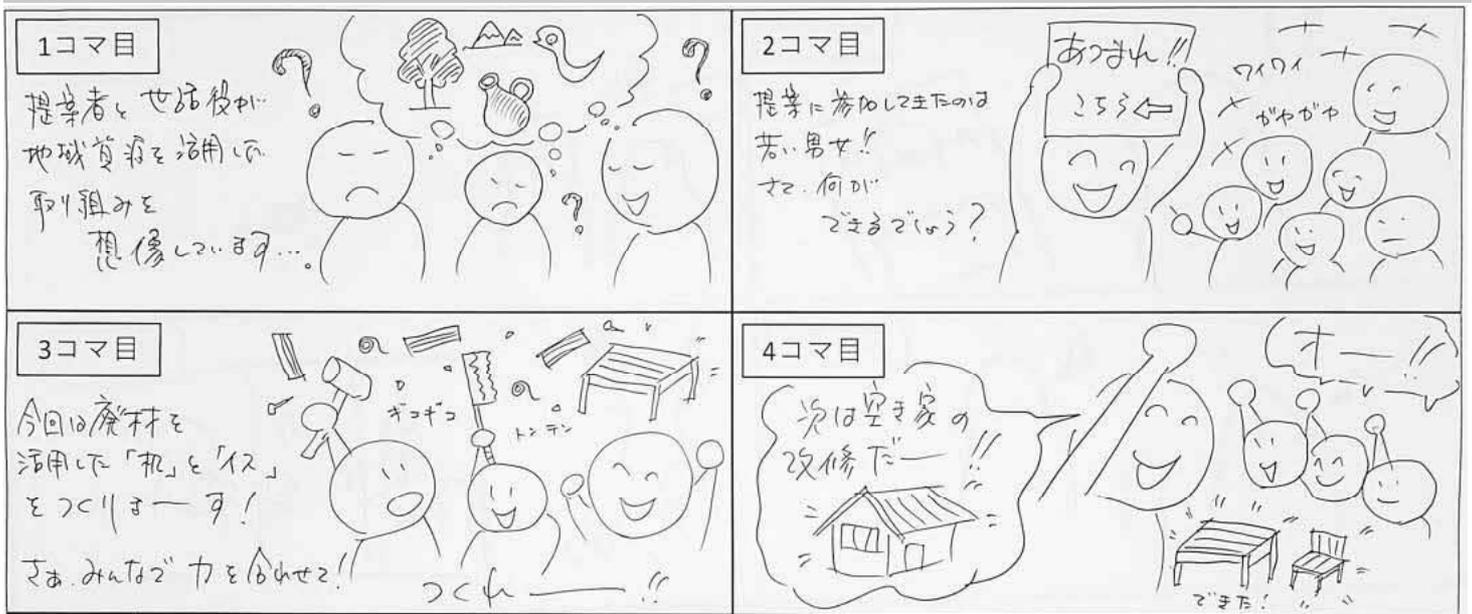
- モデル地区選定(行政の協力)
- 実行委員会立ち上げ(市民主体を促す)
- 春に立ち上げ(内容例 テーブルとイス)
- 宣伝のち、夏1回目の企画として実施

プロジェクトの懸念点・今後の検討課題等

- 男女の出会いの場をおわせない宣伝方法

79

4コマ漫画



こんな楽しく取り組む声が聞こえてきます

1コマ目 提案者と世話役が地域資源を活用した取り組みについて熱心にアイデアを出し合っています。

2コマ目 提案に応じて集まったのは、意気揚々とした若い男女たち。彼らにはどんなことができるのでしょうか。

3コマ目 今回のプロジェクトでは廃材を利用して「机」と「椅子」を作成します。地元の大工さんを講師に迎え、一緒に力を合わせて創作に取り組みましょう。

4コマ目 各自の作品が無事完成し、参加者同士の絆が深まりました。中には良い関係を築き始めている男女も。実は、この家具作りに使われた場所は以前から空き家だったので。作品作りで絆が深まった彼らは、次は空き家の改修に意気込んでいます。

80

～スポーツを通じた男女の自然な出会いを促す取組～

「いい汗流していい恋しよう！スポーツで KONKATSU in SOTAI」

運動が苦手でも心配無用！「スポーツで繋がる恋活！」は、一人でも、チームでも楽しめる新しい形の婚活イベント。ソフトバレーとバドミントンで楽しく体を動かし、新たな出会いを探しましょう。運動が得意でない方も、レクリエーションを通じて楽しく参加できる。スポーツの後は、和やかなティータイムでリラックス。運動後のトークタイムは、自然と会話が弾み、何組かマッチングにも繋がっている。

運動が苦手でも大丈夫！
「一人参加でも楽しめる」「チームで盛り上がる」

そんな婚活に
参加してみませんか
「スポーツで汗を流した後は
ゆったりティータイム」

いい汗流して
いい恋しよう！
スポーツで
KONKATSU
in SOTAI

参加者
募集

～共同作業を通じた男女の自然な出会いを促す取組～

「初春の芋煮会コン in 萩市」

「萩の春恋活！」では、萩市の自然を背景にした芋煮会で新たな出会いを探しましょう。手作りの芋煮と共に、同じレシピでも異なる味わいの食べ比べも楽しめます。アウトドアの温もりと、1対1の自己紹介タイムで心もぼかぼか。イベント前のコミュニケーションセミナーで親密さもアップ。GO-ENプロジェクト主催で、恋も結婚も応援します。この春、萩で新しいご縁を見つけましょう！

あなたの婚活・恋活を応援します！
GO-EN セミナー × 婚活イベント

出逢う
食す
つくる

ぶちうま！
芋煮サイコー！

火があるから
あったか〜い！

2023. 2.26 日
30代 40代さん
楽しみましょ〜

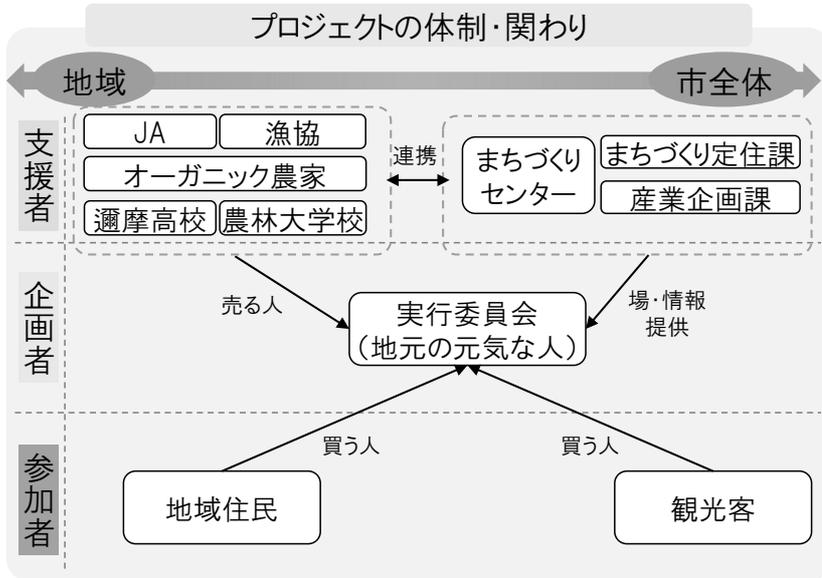
身体もココロも温まる

初春の芋煮会コン
in 萩市

地区巡回型 マルシェ

地域の特産品や工芸品などを販売する巡回型マルシェを開催。地元の生産者が直接消費者と交流し、地域の活性化を図るとともに、地元産品のPRにつなげる。

特にこの世代にアプローチしたい！



プロジェクトのポイント

- 各まちづくりセンターで月1回の開催(持ち回り)
- まちづくりセンターを通じて地域の元気な人を呼ぶ
- 実行委員会を設立し、地域の子どもやより多くの地域団体を巻き込む。

プロジェクトの懸念点・今後の検討課題等

- 持続可能なやり方
- 入荷商品の品揃え・数の安定を考えると、地区の持ち回りとする事への協力可否。
- 商品がきちんと集まるかどうか。

4コマ漫画



こんな楽しく取り組む声が聞こえてきます

1コマ目 地元の元気な大人3人が、地元で何か新しいことを始めようと何やら話し込んでいるようです。

2コマ目 行政と高校生も議論に加わり、地域全体でマルシェをやってみよう意気込んでいます。

3コマ目 マルシェ開催に向けての準備面で不安そうな表情を浮かべる大人と、それに対してワクワクしている高校生がいます。大人の一人が、各地区持ち回りでやったらいいのではないかと提案し、やっと次に進むことが出来そうです。

4コマ目 若者を含む多くの人々が、地元の食材に触れ、その魅力を再発見している様子。このマルシェを通じて、参加者たちの中で大田市への愛着が深まったようです。

～大田市内の各地で行われているマルシェ～

「イケイケ池田チャレンジマーケット」



「湯里楽市」



～軽トラックの荷台を店舗に見立てた産直市～

「軽トロ市」

2016年6月26日(日) 江津土建前(江津市江津町)にて開催された「第一回 軽トロ市 ごうつ・いいもの」。江津で採れた新鮮なお野菜などの農産物が大集合しました。

軽トラックの荷台は、小さいように見えて大ボリューム!

江津で採れた新鮮なお野菜が飛ぶように売れました。お野菜もひとつひとつ丁寧に梱包され、新鮮なお野菜を安価で購入できると、お子様連れで大賑わい!



出典) 合同会社G-WORKS ホームページ

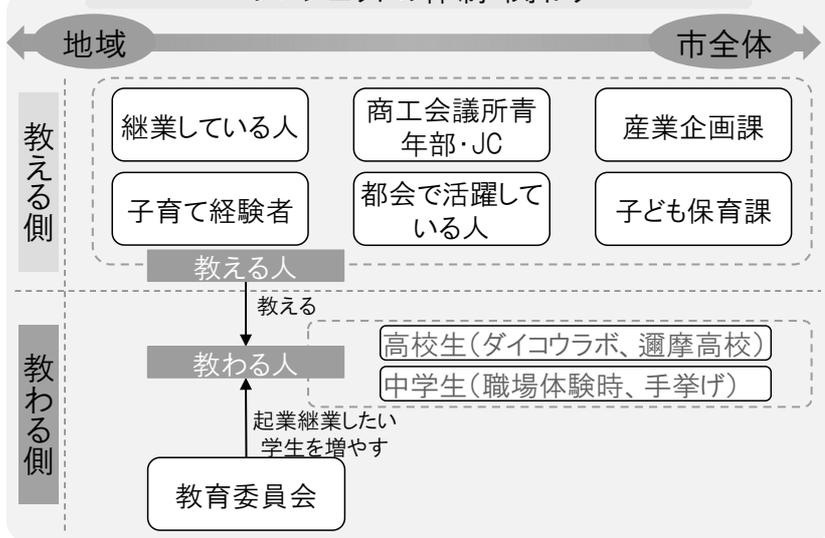
中高生と若手起業継業家の リンク塾

メンター制度を通じて、地元企業の若手経営者や継業家から直接学び、経営や起業の実践的スキルを身に付けるワークショップを定期的に行う。また、キャリア教育の一環として、中学校・高校と連携し、起業創業への理解と意識の向上を図る。

特にこの世代にアプローチしたい！



プロジェクトの体制・関わり



プロジェクトのポイント

- 大田らしさとして、子育てと仕事の両方のノウハウを伝えるために、特に女子学生を狙ったプログラムを展開
- 教育委員会が窓口となり、年間で学生が活動できる日を調整
- 教える側においても可能な日を調整

プロジェクトの懸念点・今後の検討課題等

- 高校生が忙しすぎる。
- 学校と起業人をどうつなげるか(日程調整等において、教育委員会および産業企画課が関わることができると心強い)
- この取り組み自体をどう継続させるか(数年では効果が見えない。)

4コマ漫画



こんな楽しく取り組む声が聞こえてきます

1コマ目 放課後のある日、女子高生がマイウェイカフェで、仕事と子育てを両立する大人の話を読み、自分の未来について夢を膨らませています。しかし、結婚や子育てに関する具体的なイメージはまだ持っていないようです。

2コマ目 高校卒業後、彼女は以前聞いた大人の話に影響を受け、自分も都会で起業することを決意します。

3コマ目 時が流れ、彼女は無事に就職し、結婚し、子どもにも恵まれました。そして夢だった起業も実現。家族と共に幸せそうに暮らし、彼女の人生が順調に進んでいるように見えます。

4コマ目 しかし、仕事と育児の両立の難しさに直面し、思い描いていた人生とは異なる現実に直面している姿があります。そんなある日、ふと、大田で仕事と子育てを楽しむ大人の話を読み出します。そして、「そうだ、大田に帰ろう」と決意。故郷の風景や温かい人々に囲まれ、家族とずっと幸福な人生を送ることを願うようになります。

～起業・創業支援～

「ふるさと大田起業・創業支援事業」

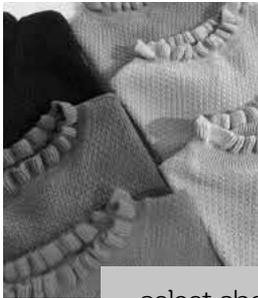
大田市では、空店舗等を活用して小売業・飲食業・サービス業等の起業・創業をされる方に対して、経費の一部を補助することにより、地域の経済活性化と賑わい創出を図っています。改修費、備品購入費、備品リース費、家賃、広告宣伝費の1/2以内を補助、補助上限は100万円です。



HairSalon Cu・Be



CAFÉ & PASTA Piccolino



select shop MYRO



本事業の活用により
起業・創業
された例



栗まんじゅう 栗寅



～女性をターゲットにした起業創業支援の取組～

「みよしアントレーヌ」

三次市では、女性の起業家の社会的な認知度を高め、多くの女性の起業を応援するため、市内で起業した女性を対象に「女性起業家認定制度」を創設し、「みよしアントレーヌ」として認定しています。(平成31年4月に創設)。認定された方には認定証(盾)が交付され、また、市の女性起業家支援を受けられる特典もあります。

広島県三次市
女性活躍プラットフォーム
(起業支援センター)

専門的な相談や仲間づくりに対応。子連れにも優しい空間づくり。



第3部：パネルディスカッション

以下4テーマについてパネルディスカッションを行います。

* ①②③は、「キーワード方式」で進めます。

④は「漢字一文字方式」で進めます。

①大田市の人口減少の要因とその課題

大田市が直面している人口減少に関して、特に大きな要因と考えられるもの、あるいは課題について簡単にその内容をご説明ください。

②大田市全体あるいは各地元で実践する取組みとその戦略

大田市全体あるいは各地区で必要あるいは大切と思われる具体的な取組や体制づくりについて、「こんなことをやっていきたい！」あるいは「こんなことが必要だ！」というものについて簡単にその内容や体制についてご説明ください。

③大田市の価値と魅力の再発見・共有

上記②のようなことを取組むにあたって、大田市の魅力や誇りは何なのか、何を移住者や次世代に伝えていくべきなのかについて簡単にその内容をご説明ください。

④未来に向けての提言

それぞれの地域の持続可能な未来に向けて、みんなで共有すべき大切な心構えや条件整備等について、「漢字一文字」で表現し、その意味するところを簡単に説明ください。